	事務事業名				担当					
					部	都市整備語		武藤茂		
基	市民活動推進事業				課	管理課	担当	加藤物一郎		
本デ	第五次総合甘木計画に	おける	2位黑付け		係	公園管理				
	第五次総合基本計画に 政策項目 01 心ゆきか			いけれせポタナ	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	2时)		拠へ <i>広</i> 市、安神寺/ 公共施設アダプト		
	大項目 01 人と人を									
タ	中項目 01 コミュニ		(= (= /	1012	' -) ()]E/E/		よる事業実施義務		
	個別計画(年度)							(市上乗せあり)		
	予算科目コード 款	02	項 O1	目 14	細目	001 細々目	O1 ☑任意	(都補助等あり)		
	目的				/ + + £	スナ じの印度の	小小台にナファ	トナ辛回していてかく		
	<対象は誰、何か> アダプト団体							とを意図しているか> が、公共施設の一定		
	アタフト団体							るとは		
						取り組めるよう		WE186 C 12(10)131/47		
	実施内容				実績	• 成果				
	市が管理する道路及び				平成28年度公園のアダプト団体は、15団体217名。					
	掃活動を行う団体に対し	必要な	は用具の提供な	・ボラ	平成28年度道路のアダプト団体は、22団体329名。					
	ンティア保険の加入。									
車										
事務										
事										
事業										
概	コスト	(単位)	27決算	28当初		28決算	29当初予算	備考く特財名称等>		
要	直接事業費	千円	191		254	225	251			
	国庫支出金財が支出会	千円						-		
	源地方傳	千円						-		
	7 0 1644 5 1345	千円						-		
		千円	191		254	225	251	_		
	一般職員人件費	千円	4,035		<u>150</u>	3,990	4,160	-		
	人工数	人	0.50	(0.50	0.50	0.50			
	再任用職員人件費	千円								
	人工数	十円	4.006	1	101	4015	1 1 1 1	-		
	総事業費 個別評価 ※ 別紙		4,226 事業評価基準		<u>404</u> ス	4,215	4,411			
	a			_	_		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7.(1)		
	①優先度(どの程度優先	もされる	6べきか)	2	2)安	当性(実施万)	法は妥当である	3か) 3		
	アダプト制度による							星を行うことにより、		
事	判を通じて、公共施設へ断に対する			助の向	判地		った管理や公共	共施設の有効活用など		
務	断 上、地域コミュニティ 理	פתעט	以が図られる。		埋	可能となる。				
事	曲				由					
業			7 4 1 1	\sim	(A) +++					
評価	③達成度(成果はどの科	呈医める	るが)	3	0	,	に実施できたな			
ТШ	自分たちのまちを自				MALL			報・ポスターちら		
					11/C			別不足ということも ****		
	理立性を含てるのに有効			国の全国	理る	り、効果的は、		態めていくためには、		
	由		ک.		由					
	第五次総合基本計画前	半期(り評価と今後	の課題			Α 成果拡大に	 向けて実施方法を見直し		
課	活動団体メンバーは緑					後の一一	B コスト改善	に向けて実施方法を見直し		
題と	通じて、公共施設への愛				方に		C 抜本的な見 D 縮小・廃止			
	般利用者の考え方との間	にギャ	ップが生じる	らことが			E 現状を維持			
今後	ある。							具体的な取組		
の					里f	复し (ハフン)	ティア保険に加	人しない。		
方										
白										
性										

	事務事業名			担当					
				部	都市整備語		武藤茂		
基	駅前公衆便所維持管	理		課	管理課	担当	加藤物一郎		
本				係	公園管理(内線2179		
デ	第五次総合基本計画に					実施根	処<法令、要綱等>		
Ιí	政策項目 04 環境をつ			の形成	发)				
タ	大項目 01 ともに保	つ(生活環境の維持	· 向上))			
	中項目 01 生活環境						よる事業実施義務		
	個別計画(年度)			4.5.	(m)		□ 市上乗せあり)		
	予算科目コード 款	O4 項 O1	■ 04	細目	001 細々目	O1 ☑ 任意(□ 都補助等あり)		
	目的				7 + 1 - 10 + -	18461-1	. <u> </u>		
	<対象は誰、何か>	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					とを意図しているか>		
	駅前公衆便所(昭島駅	、中神駅、東中神場	K)			見好に維持管理	し、気持ちよく利用		
				してもらう。					
	実施内容				• 成果	- 1 			
	委託業者による定期的			駅前公衆便所を良好な環境にするべく、維持管理の 向上に努めた結果、利用者からの苦情が減少した。					
	検、緊急時の修繕対応等	、利用者の利便性を	と図る。	回上的	こ努めに結果、	利用者からの	苦情か減少した。		
事									
務									
事									
業									
概	コスト	単位 27決算	28当初		28決算	29当初予算	備考く特財名称等>		
要	直接事業費		2,926 3,		2,887	2,141			
	国庫支出金	千円							
	財都支出金源	千円							
	_広 地刀頂	千円							
	その他特定財源	千円							
	一般財源	千円 2,926	3,	230	2,887	2,141			
	一般職員人件費	千円 4,035	4,	150	3,990	4,160			
	人工数	人 0.50	(0.50	0.50	0.50			
	再任用職員人件費	千円 890		904	943	916			
	人工数	人 0.20	(0.20	0,20	0.20			
	総事業費	千円 7,851	8,	284	7,820	7,217			
	個別評価 ※ 別紙	「事務事業評価基	準」によ	る					
	①優先度(どの程度優先	ーナれてがまかり	2	(Q) IV.	坐外(中华卡	ナルの坐である	2 (1)		
		はらいるいろかり	3	公女 :	31注(美施力)	法は妥当である	3か)		
	駅前という立地条件			Nat	現状維持といる	う点では妥当て	である。		
車	判め、快適に使用しても		青掃や必	判断					
事務	断要に応じた修繕が必要 理	である。		理					
古	由			由					
事業				Ш					
評	③達成度(成果はどの程	(度なるか)	4	(人)	玄性 (动家的	に実施できたた	3		
価			<u> </u>						
ІШ	委託業者による定期						所を改築した結果、		
	判検、緊急時の修繕等を断したを図ることができた		更性の向				らようになり、利用者		
	断 上を図ることができた 理	-0		理か	らの苦情が減り	少した。			
	曲			由					
				w					
課	第五次総合基本計画前				K (7)		向けて実施方法を見直し		
題	浮浪者の寝泊り防止や		影等の	今後		B コスト改善 C 抜本的な見	に向けて実施方法を見直し 直し		
と	破損、詰まりなど悪質な	事案に対する対応。		方に		D 縮小・廃止			
今						E現状を維持			
後						偏成における!			
の							備及び駅舎橋上化に		
方							係で維持管理する駅		
向	ĺ			前公衆便所は昭島駅前及び中神駅前公衆便所の2箇所の					
				+ -	_				
性				なった	こ。				

	事務事業名			担当	部署			
				部	都市整備部		武藤 茂	
₩	土木共通事務			課	管理課	担当	櫻井 秀夫	
基				係	管理係	電話	内線2505	
本デ	第五次総合基本計画に	おける位置付け					拠く法令、要綱等>	
ア	政策項目 05 基盤を築		第な都市空	間の	2備)	2 (20 12)		
	大項目 01 ともに築			-1-0-07	E Mig /			
タ	中項目 01 道路	((OF) 1- Z.m. () EN	u,			法令に	よる事業実施義務	
	個別計画(年度)						(市上乗せあり)	
	予算科目コード 款	08 項 01	目 01	細田	002 細々目			
		00 項 01		WM (002 1107			
	日間 <対象は誰、何か>			∕ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	ラたどの程度の	いけ能にオスニ	 とを意図しているか>	
		に反て市政				·	Bが滞らないようにす	
	官珪味 C1J フ耒伤主放 	に派る事伤		 () () () () () () () () () (伤で口消に逐1.	」し、官珪素が	がかからないように9	
				<i>ک</i> ه				
				中结,成用				
	実施内容			実績・成果 管理課所管の事務はもとより、庶務担当課として他				
	○車両の維持管理	口签の購入			生課所管の事務	別なもとより、		
	○土木事務に必要な消耗	品寺の購入		部、1	也誅、罔徐機臣	するの連絡調整	修が円滑にできた。	
	○複写機借上料							
	□○積算システム使用料 □○負担金(多摩川整備促	并执 議 令。	生/兄:/年 甘月					
事			用ル進捌					
務		·)						
事								
事業								
概	コスト	単位 27決算	28当初]予算	28決算	29当初予算	備考く特財名称等>	
要	直接事業費	千円 4,776	4,	510	4,104	6,576	その他特定財源	
	国庫支出金	千円					•屋外広告物許可申	
	財都支出金源地方標	千円					請手数料	
	地方債	千円					• 複写機利用料	
	内での他特定財源	千円 44		37	52	37	• 水道事業会計負担	
	一般財源	千円 4,732	4.	473	4,052	6,539	金	
	一般職員人件費	千円	,	110	1,002	3,033	• 自動車損害賠償保	
	人工数	人					険金	
	再任用職員人件費	千円					_	
	人工数	人					_	
	総事業費	千円 4,776	4.	510	4,104	6,576		
		「事務事業評価基			.,	0,0.0		
				_	N/ lite / 1 = 1 :	— —	O	
	①優先度(どの程度優先	たされるべきか)	4	(2)妥	当性 (実施方)	法は妥当である	るか) 3	
	業務の遂行のために	、最低限必要な事	終で優先		外部委託や借	上げを行うとる	ともに、消耗品等も必	
	判し使は高い			判要			事務処理を心掛けてい	
事	图			断っ		0.00		
務	理			埋				
務事業	曲			由				
業							_	
評	③達成度(成果はどの程	呈度あるか)	3	4 効	率性(効率的	に実施できただ	か) 3	
価	円滑な業務の遂行か	ボブキアハス			以立未託か供	トげた行うと	ともに、消耗品等も必	
	判し「用の未物の逐行が	1, CG (N.O°					- 0に、月末品等の20 事務処理を心掛けてい	
	断			断る		みしが手回る。	事物処理を心強りてい	
	理			理しる	0			
	由			由				
			/ <u>~ =</u> mor					
課	第五次総合基本計画前	半期の評価と今後	後の課題	<u>수</u> 2	美 の 一		向けて実施方法を見直し	
題						B コスト欧書 C 抜本的な見	語に向けて実施方法を見直し 見直し	
کے					0選択)	D 縮小・廃止	_	
						E 現状を維持		
今 後							具体的な取組	
のの							費を前提とした業務で 1000円	
方					, 従って今後も	ら管理業務が満	^{帯らないよう努めてい}	
自				<.				
性								
工								

	事務事業名				担当	部署				
					部	都市整備部		武藤 茂		
基	道路管理事務				課	管理課	担当	小野瀬 歳紀		
至士					係	管理係	電話	内線2505		
本デ	第五次総合基本計画に	おける	る位置付け				実施根	拠く法令、要綱等>		
アー	政策項目 05 基盤を築	くあ	きしま(快適	な都市空	間の割	整備)	\ 关	学 02##		
	大項目 01 ともに築	く(都	市基盤の整備)			担 路达 (• 道路構造令		
タ	中項目 01 道路						法令に	よる事業実施義務		
	個別計画(年度)							(□ 市上乗せあり)		
	予算科目コード 款	80	項 O2 E	3 01	細目	002 細々目	O1 ☑ 任意			
	目的				I.					
	<対象は誰、何か>				<対象	象をどの程度の	状態にするこ	とを意図しているか>		
	市有の行政財産である				道	路の財産管理を	を恒常的に実施	し情報提供してい		
	正に管理する。市民に情	報提供	し行政サービ	スとし	る。管理上の基礎となる道路台帳は、最新の情報に更					
	て還元する。				新しておかなければならない。					
	実施内容				実績・成果					
	迅速な情報のために道	路管理	システムを導	入して	最新データにより更新された道路管理システムによ					
	いる。道路台帳の補正更	新及び	「システムデー	夕更新	り、市民サービスとして、迅速かつ的確な道路情報の					
	作業を実施する。				提供が可能となる。					
事										
務										
事										
業										
概	コスト	(単位)	27決算	28当初	予質	28決算	29当初予算	備考く特財名称等>		
要	直接事業費	千円	9,703		661	33,631	9,218			
	国庫支出金	千円	0,100	33,		00,001	0,210	減収補填債		
	財製支出を	千円						"77 177113 7717		
		千円				22,000		その他特定財源		
	1 2 0 11 th th 1 1 1 1 1	千円	88		70	81	70	• 道路区域境界等証		
		千円	9,615 33,5			11,550	9,148	明手数料		
	一般職員人件費	千円	3,010	00,	001	11,000	5,140	_		
	人工数	人						_		
	再任用職員人件費	千円						_		
	人工数	人						_		
	総事業費	千円	9,703	33.	661	33,631	9,218	-		
			事業評価基準			33,331	0,210			
					_	N/4#		7.11)		
	①優先度(どの程度優先	される	5べきか)	3	2)安	当性 (実施方)	法は妥当である	3か) 3		
	道路台帳を調整する	ことに	は、法に則る行	活。そ		随時実施される	るべき台帳であ	るが、データ更新事		
	判 の更新・保管する台帳				判室			非常に煩雑になり人		
事務	断				断昌	、時間的には				
務	理中心的知识。				理					
事業	由				由					
美		n d=+- -	7 41)	2	⊘ ⇔h	₹## (±±±±±45		20		
評	③達成度(成果はどの程	度のな	500)	3	49	率性(効率的	こ実施でさたん	(h) 3		
価	近年において道路台	帳の鼠	最新データは順	次更新	Mail	日常的な事務:	コストに大きな	は増減はない。		
	判され、日常的な管理は				判					
	断民、他の官公庁による				断					
	理は、過去の事案で近年由ブルが発生しているも			ごのトラ	理由					
	世 ブルが発生しているも	のがま	5る 。		Ш					
= ⊞	第五次総合基本計画前	半期の)評価と今後	の課題	^ .	4.0		向けて実施方法を見直し		
課	私道整備については、					後の		に向けて実施方法を見直し		
題	については、残っている	課題に	ついて取り組	んで行			C 抜本的な見 D 縮小・廃止			
	きたい。				白みり	0選択)	E現状を維持			
と今後					平成	30年度予算網	偏成における	具体的な取組		
						常的な事務と主	位行して、狭隘	道路整備の推進や特		
の								明らかにしていく。		
方向										
白										
性										

	事務事業名				担当	部署				
					部	都市整備部	部課長	武藤	芰	
基	特定公共物管理				課	管理課	担当	松岡俊明	月	
					係	境界係	電話	内線2502	2	
本 デ	第五次総合基本計画に	おける	る位置付け			I.	実施根	拠く法令、要	綱等>	
ア	政策項目 05 基盤を築く	くあ	きしま(快適	な都市空	間の割	資備)		第5条 地財法		
	大項目 01 ともに築く	く(都	市基盤の整備)				財産の管理)	,.	
タ	中項目 O1 道路						法令に	よる事業実施	義務	
	個別計画(年度)							(市上乗せあり)		
	予算科目コード 款	80	項 02 [∃ 01	細目	002 細々目	02 ☑任意	(都補助等あり))	
	目的					<u> </u>				
	<対象は誰、何か>				<対象	象をどの程度の	状態にするこ	とを意図してい	るか>	
	不法占用者、国から譲	与され	た赤道、水路	等の売	管理	理出来ていない	1不法占用され	ている赤道、ス	水路等	
	り払いのための作業。				を不法占用者に売り払いをする。					
	実施内容				実績	• 成果				
	売り払いのための地積減	則量区	等の作成。				いては、売りキ	公いに直結する	作業は	
	70 320 107 207 208 130		. 5 -2 11 /240		無かったが、過去に売り払った場所の土地境界図の修					
					正が残っていたため、今回はその中から3か所分の修					
					正作	業を行った。				
事										
務										
事										
業										
概	コスト	(単位)	27決算	28当初	1字質	28決算	29当初予算	備考く特財名	'称笙〉	
要	直接事業費	千円	1,615		250	2,049	1,844			
¥	国庫支出金				200	2,049	1,044	特定公共物		
	対	千円						ISALAXIIII	区/13/17	
	源地方法	千円						-		
	7 - 4 - 5 - 5 - 5	十円	610		596	700	613	-		
	記していている。 一般財源	千円	1,005		654	1,349	1,231			
	一般職員人件費	千円	1,005	1,	004	1,349	1,231	-		
	人工数	人						-		
	ベエダ 再任用職員人件費	千円						-		
	人工数	人						-		
	総事業費	刊	1,615	2	250	2,049	1,844	_		
			事業評価基準			2,0+0	1,044			
	①優先度(どの程度優先	される	るべきか)	4	2)妥	当性 (実施方)	法は妥当である	るか)	2	
	公共施設等総合管理計	画に定	める、公共施設	等の管		平成15年4月	1日に国から	譲与された赤道	1. 水路	
	判理に関する基本的な方針	に基づ	き、公有財産の)積極的	判等			こめ、売り払い		
事	断 な有効活用を図るために	は優先	:度は高い。また	、公共	断宝	施。	10,000	2001 70 7 320	11 21 C	
務	理 の用に供さず、不法占用	されて	いるものについ	ては時	埋					
事業	由効取得の対策としても優	先度は	局の。		由					
業					0				_	
評	③達成度(成果はどの程	度ある	るか)	1	4)効	率性(効率的	に実施できたが	(יכ	3	
価	不法占用されている	場所の	つ売り払いは無	きかっ		平成27年度分	発展している。	平成27年度	まは1か	
	判步	27,51710	JJ J J J J 100/10	11/3 3	判所			328年度は売り		
	迷灯				断け	無かった。	3 2 7 2 10 1 1 1 1	120121090	J 12.1	
	理				埋	,				
	曲				由					
	 第五次総合基本計画前部	坐‡14/1	つ証価と会後	の運題			Δ 成里坑大厂	 向けて実施方法を見]直1,	
課		TH/J∪	プロエ回しフタ	マノロ不 心	今後	後の 一	B コスト改善	に向けて実施方法を		
題					方向	o性 -	C抜本的な見			
کے					(右より	0選択)	D 縮小・廃止 E 現状を維持			
と今後					파하	20年度予管经		具体的な取組		
								具体的な財制の確保及び公共		
の								に売り払いを行		
方						確保に取り込む		ハーノログコロリビー	J V 1	
白					\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\					
性										

	事務事業名				担当					
					部	都市整備語		武藤 茂		
基	道路維持管理				課	管理課	担当	並木 秀行		
至					係	管理係	電話	541-2222		
本デ	第五次総合基本計画に	おける	6位置付け				実施根	拠く法令、要綱等>		
ナー	政策項目 05 基盤を築	くあ	きしま(快適	な都市空	間の割	怪備)	学 原计	*************************************		
_	大項目 01 ともに築	く(都	市基盤の整備)			道路法	道路構造令		
タ	中項目 01 道路						法令に	よる事業実施義務		
	個別計画 (年度)							(市上乗せあり)		
	予算科目コード 款	08	項 02 目	02	細日	001 細々目				
	目的		X					\ <u> </u>		
	<対象は誰、何か>				₹	象をどの程度の)状態にするこ	とを意図しているか>		
	昭島市が管理する1,27	72路網	. 226±□×	くートル				、交通安全、事故防		
	の道路	ره ال صو		1 /0				の実現を図る。		
	実施内容				宝績	• 成果				
	・市道路線等維持補修・市	首路線往	5路樹剪定 		平成27年度 335件					
	市道及び市有地除草・多原			り	平成27年度 355円 平成28年度 263件					
	• 市道北101号簡易地下道	路清掃	及びポンプ室点	検			93件(6月末)	申請件数)		
	・玉川町ロータリー噴水清			刈込				, 5,511, 541,		
事	• 市道路線内道路清掃 • US	ア溝及で	が取付け管清掃							
務										
伤										
事業										
耒		/ } } 	07\tag{\tag{\tag{\tag{\tag{\tag{\tag{	OO \\/ \	124	OO:ta				
概	コスト	(単位)	27決算	28当初		28決算	29当初予算			
要	直接事業費	千円	73,841		603	82,490	74,753			
	国庫支出金	千円	4,400	·	500	4,400		• 市町村総合交付金 • 緊急雇用創出事業		
	財都支出金源地方標	千円		6,	000	5,500		· 系总准用剧山争来 臨時特例補助金		
	内地刀頂	千円	05.007	07	000	07.47.4	70.050	その他特定財源		
	訳をの他特定財源	千円	65,007		266	67,474	73,253	• 道路使用料		
	一般財源	千円	4,434	6,	837	5,116	1,500			
	一般職員人件費	千円								
	人工数	人								
	再任用職員人件費	千円								
	人工数	人								
	総事業費	千円	73,841		603	82,490	74,753			
	個別評価 ※ 別紙	事務	事業評価基準	≛」によ	る					
	 ①優先度(どの程度優先	こされる	ろべきか)	4	②妥当性(実施方法は妥当であるか) 2					
				•						
	道路の陥没や凹み、 判の落下等事故の発生原							早期発見早期対応がべ		
事		因にな	なりつるので優	先度の			の作業に時間を	至採られているのが現		
務	一高い現場も多い。 理				理場	である。				
重	由				由					
事業					Ш					
評	③達成度(成果はどの程	度ある	ろか)	4	②动力	率性(効率的	に宝施できたか	3		
価				•						
ІШ	H28年度の補修依頼			補修完				ファルト合材を使用す		
	判 了件数は、219件(8	3.6%)だった。					る場合には穴埋めす		
	理				理る	など点ではなく	くエリア的に補	#修に努めている。		
	由				由					
					ш					
= ⊞	第五次総合基本計画前				^/	w Ø		向けて実施方法を見直し		
課	道路台帳などの整備に					後の		に向けて実施方法を見直し		
題	随時すすめているが、一	部不足	する部分があ	る。	方向		C 抜本的な見 D 縮小・廃止			
<u>ک</u>	道路の維持・管理につ				石より	0選択)	E 現状を維持			
今	い、道路の適切な維持・				平成	30年度予算網	偏成における	具体的な取組		
後の	個所の補修については、							予算削減されている		
の	道路全体が経年劣化して	いる道	路が多く、早	期の道				。また、街路樹の枝		
方	路改修が必要である。				の剪え	定やヤゴ等によ		ので予算を上げて頂		
白					きたし	, \ ₀				
性										

	事務事業名				担当	部署				
					部	都市整備部		武藤 茂		
基	鉄道駅自由通路等維	持管理			課	管理課	担当	櫻井 秀夫		
					係	管理係	電話	内線2505		
本 デ	第五次総合基本計画に	おける	位置付け		ļ.	I.	実施根	拠く法令、要綱等>		
ア	政策項目 05 基盤を築	くあき	としま(快適)	な都市空	間の割	整備)				
	大項目 01 ともに築									
タ	中項目 01 道路						法令に	よる事業実施義務		
	個別計画(年度)							(▼ 市上乗せあり)		
	予算科目コード 款	08	項 02 E	02	細目	002 細々目	O1 ☑ 任意			
	目的					1 - 1		·—		
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	拝島駅自由通路・中神	駅•昭島	急駅					通行人の利便性の向		
					上に	寄与する。				
	実施内容				実績	• 成果				
	各駅の自由通路等の清	掃及びエ	Lレベーター	エス			アー・エスカレ	/ーターの保守・管理		
	カレーターの清掃			_,	により安全な運行が行われた。また、定期的な清掃に					
					より環境美化が図られ通行人の利便向上に寄与でき					
					た。					
事										
務										
事										
業										
概	コスト	(単位)	27決算	28当初		28決算	29当初予算	備考く特財名称等>		
要	直接事業費	千円	52,349		348	61,923	55,424			
¥	国庫支出金	千円	02,049	04,	J + O	01,320	55,424	• 市町村総合交付金		
	財製支出を	千円		5.0	000	6,000				
		千円		٥,٠	300	0,000		その他特定財源		
	7 - 4-4-5-1-5	千円	14,425	17	307	18,121	14,405	• 拝島駅自由通路広		
		千円	37,924	42,0		37,802	41,019	告板使用料		
		千円	31,924	42,0	J 4 I	31,002	41,019	• 拝島駅自由通路維		
	人工数	人						持管理費負担金		
		千円						-		
	人工数	人						-		
	ハエ <u>級</u> 総事業費	千円	52,349	64 '	348	61,923	55,424			
			32,543 業評価基準			01,320	55,424			
		· ** 177 *			_					
	①優先度(どの程度優先	こされる	べきか)	5	②妥	当性(実施方)	法は妥当である	るか) 4		
	 不特定多数の乗降客	か市民力	が利田するた	- אלו לא		清掃等にあた	ろのは季託業者	音であり、十分に省力		
	判 亜性けるい	(011110)	ט אפ בחנייף כי	ישי ,רש.	判化	が図られている				
事務	迷灯				断	/3 \(\text{\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\text{\text{\tint{\text{\tint{\text{\text{\text{\tint{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\tint{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\text{\tint{\tint{\tint{\tinit{\text{\tinit{\text{\tinit{\tinit{\text{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\text{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit}\\tinit{\tiinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tinit{\tiinit{\tiinit{\tiinit{\tii}\}\tiin}\tinit{\tiin}\tiin}\tiinit{\tiinit{\tiinit{\tiinit{\tiinit{\tiinit{\tiit	٥٥٥			
務	理				理					
事業	由				由					
業										
評	③達成度(成果はどの程	度ある	か)	4	4効	率性 (効率的)	に実施できたが	b) 3		
価	委託業者による清掃	を宝施し	 , 利田考 <i>の</i>	利便性		白山涌路維持領	空田豊の大部分	は各駅のエレベー		
	判が図られた			小小以文江				管理及び清掃である		
	迷 灯				断 が			るので効率的運用と考		
	理				埋 ラ	、				
	由				由	30				
		半田へ	11年レ合後/	かき田田田			∧ c+=+c+/c	向けて中族を決ち見去!		
課	第五次総合基本計画前	十州の	一世 フ で	ル読を起	今後	美 の 一		向けて実施方法を見直し に向けて実施方法を見直し		
題					方向		C 抜本的な見	直し		
ک					右より		D 縮小・廃止 E 現状を維持			
と今後					₩ Et	20年度圣管经		具体的な取組		
								冥体的な取組 理していく。維持管		
の										
方					生は、	フィー いっぱ (二 / 下口 17 5		テリロオで囚 ノ ()		
白					. 0					
性										

	事務事業名			担当	部署				
				部	都市整備部	部課長	武藤 茂		
₩	公園維持管理			課	管理課	担当	加藤物一郎		
基				係	公園管理	系電話	内線2179		
本デ	第五次総合基本計画に	おける位置付け	+			実施根	拠く法令、要綱等>		
ァ	政策項目 05 基盤を築			門の	整備)				
	大項目 01 ともに築く			_ -0007	E 1/13/				
タ	中項目 02 公園	((8), 10 T. III. (2) II							
	個別計画(年度)								
	予算科目コード 款	08 項 03	目 02	细口	001 細々目				
		00 頃 03	<u> </u>	市田田		01 □任意	(□ 部補助寺のり)		
	目的			/ 5 56	ラカ ド の 和 庄 <i>の</i>	いよおにオマー	レ友辛回しているかく		
	<対象は誰、何か>	2の体帯により	## 白 / 3 # 4 # #						
	42箇所の都市公園、そ 場	10110名次以场、	持島絿地仏			はない はっぱい はいけい はいけい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	とし、気持りよく利用		
	场			UC.	もらう。				
	実施内容				成果				
	42箇所の都市公園、そ								
	場等の適切な維持管理を								
	除草、樹木剪定、遊具等	の公園施設の維持	寺補修及び						
	整備工事。								
事					れいで安全など	3園を利用して	もらうことができ		
務				た。					
事									
業							加藤 惣一の		
概	コスト	(単位) 27決算	28当初	1	28決算	29当初予算	備老く特財名称等>		
要	直接事業費	千円 76,12		212	90,032	93,483			
女	国庫支出金	千円	100,						
	財都支出金	千円							
	源地方信								
	内地方限	千円 00.0	74 40	704	00.000	40704			
	その他特定財源	千円 20,37		781	20,666	19,781	/正/5///P//-1		
	一般財源	千円 55,75		431	69,366	73,702	=		
	一般職員人件費	千円 8,07		300	7,980	8,320			
	人工数	人 1.0		1.00	1.00	1.00			
	再任用職員人件費	千円 1,33		356	1,414	1,374			
	人工数	人 0.3		0.30	0.30	0.30			
	総事業費	千円 85,52		868	99,426	103,177			
	個別評価 ※ 別紙	「事務事業評価	基準」によ	る					
	 ①優先度(どの程度優先	=されスベきか)	3	②¥	当性(実施方法	法は妥当である	371)		
	公園は、人にうるおいと								
+	判 やレクリエーションなど市 断 役割を果たしている。また、	同時に救市が問から	カの害毒た緑	判断	維持管理の効率	軽化について 核	食討すべきである。		
事務	理のオープンスペースとして、	災害時における避難	#場所や防災	理					
伤		型に氷めりれる機能 ¹	や役割は、今	由					
事業	田、多種多様であり要望も	多い。		Ш					
耒	②左代氏(4月14月0年] 庇まっか)	2	⊘ ⇔h	₹## (##################################		5/1		
評	③達成度(成果はどの程	[度めるか)	3	49	率性(効率的)	こ実施でさたん	3		
価	主な業務のうち、清	掃、除草、樹木	剪定、遊具		専門技術者に	よる遊具の安全	F点検を実施した結		
	判等の公園施設の維持補								
	断 カアハスため効率よく			断た	どの状況を把抗				
	埋 ヲゎゟ ト回っている			埋					
	由していることがある。			由					
	第五次総合基本計画前	半期の証価と今	後の課題			Δ 成里拡大に	ーニーニー 向けて実施方法を目直し		
課	公園施設の老朽化がひ			今後	後の ▲		に向けて実施方法を見直し		
題	を過ぎている。市民要望					C 抜本的な見	直し		
کے	持管理が追いついていか		らてる、手田		0選択)	D 縮小・廃止 E 現状を維持			
と今		·····		777 (-1)	20年中マ学				
後									
O									
方					、公園施設のそ 改築が必要であ		とう 三国 三田 三子 スス		
向					以栄い必安にの	ン る。			
₩ +									

	事務事業名				担当					
	,,				部	都市整備語		武藤 茂		
基	児童遊園維持管理				課	管理課	担当	加藤物一郎		
至					係	公園管理	系 電話	内線2179		
本デ	第五次総合基本計画に	おける	6位置付け				実施根	拠く法令、要綱等>		
ナー	政策項目 05 基盤を築	くあ	きしま(快適	な都市空	間の割	整備)	児童福祉	业法、昭島市児童遊園		
_	大項目 01 ともに築						条例			
タ	中項目 02 公園						法令に	よる事業実施義務		
	個別計画(年度)							(市上乗せあり)		
	予算科目コード 款	80	項 03 [3 02	細目	002 細々目		(都補助等あり)		
	目的		, , , ,					\ <u> </u>		
	<対象は誰、何か>				<対象	象をどの程度の)状態にするこ	とを意図しているか>		
	49箇所の児童遊園							管理し、気持ちよく		
	. 6 2,,,,,,,,,					してもらう。		, = , = , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	実施内容				実績・成果					
	49箇所の児童遊園の	商切力	・維持管理 主	た業務	大順・水木 だれもが安心して利用できるよう、職員が行う定期					
	は、清掃、除草、樹木剪							者が行う精密点検な		
	持補修。	/L \						の維持補修を行っ		
	3 118120							掃除を行い、利用者		
事								してもらうことがで		
務					きた。					
伤										
事業										
未加	コフト	(出土)	のでは答	20平 7 1	マ笠	20油管	20平加之管	 		
概要	コスト	(単位)	27決算	28当初		28決算	29当初予算			
安	直接事業費	千円	13,102	13,	623	11,704	13,345	その他特定財源・行政財産使用料		
	国庫支出金	千円						▼1J以別生使用科		
	財都支出金源地方標	千円						=		
	内地刀頂	千円						=		
	訳をの他特定財源	千円	64		41	38	38			
	一般財源	千円	13,038		582	11,666	13,307	_		
	一般職員人件費	千円	8,070		300	7,980	8,320	_		
	人工数	人	1.00		1.00	1.00	1.00			
	再任用職員人件費	千円	1,335		356	1,414	1,374	_		
	人工数	人	0.30		0.30	0.30	0.30	=		
	総事業費	千円	22,507		<u>279</u>	21,098	23,039			
	個別評価 ※ 別紙	事務	事業評価基準	達」によ	<u>ර</u>					
	①優先度(どの程度優先	こされる	ふべきか)	3	② ¥	当性 (実施方)	法は妥当である	3か) 3		
	子どもたちが安全に 判っ 実施する必要があ		いして利用でき	なるよ				であると思うが、更な		
事	刊 う、実施する必要があ 断	ර ෙ			断る	維持官埋の処	整化について	食討すべきである。		
務	理				理					
事	<u> </u>				由					
事業										
評	③達成度(成果はどの程	度ある	ろか)	3	④ 动	率性(効率的	に宝施できたが	b) 4		
一価			- ' '	_				•		
ш	主な業務のうち、清判等の児童遊園施設の納							E点検を実施した結		
					M/C /			ている遊具の安全性な		
		行つて	こいるが、市民	送要望は	理	の状況を把握す	することができ	きた。		
	^埋 それを上回っている。				由					
					ت					
課	第五次総合基本計画前					4.D		向けて実施方法を見直し		
話題	平成27年度より子育で						B コスト改善 C 抜本的な見	に向けて実施方法を見直し		
起と	理課の業務となった。今				方に		D 縮小・廃止			
	維持管理も視野に入れ、	さらな	るコスト改善	に向け	100%	ノは打八	E現状を維持			
今後	た検討が必要。				平成	30年度予算網	偏成における	具体的な取組		
								行う維持管理業務の		
の					他に、	. 児童遊園施設	设の老朽化に対	応するため計画的な		
方向					改修	改築が必要で	である。			
白										
性										

	事務事業名			担当	部署				
				部	都市整備	部課長	角田・郁夫		
-	交通機関対策事業			課	交通対策				
基				係	交通安全				
基本デ	第五次総合基本計画に	おける位置付け		1713	7,271				
ア	政策項目 05 基盤を築			門の間	整備)	7(801)	10 (12 13 C XIII) (1)		
	大項目 02 安心とや								
タ	中項目 01 公共交通	<i>55000</i> ()	1270 V	137		法令に	よる事業実施義務		
	個別計画(年度)								
	予算科目コード 款	02 項 01	a 01	細日	009 細々目				
	目的	<u> </u>		11-W C	110 10	<u> </u>	(
	<対象は誰、何か>			<対	象をどの程度σ)状態にするこ	とを意図しているか>		
	鉄道、バス等公共交通	機関							
					域の解消。	2.0			
	実施内容			実績	• 成果				
	八高線八王子•高麗川	間複線化促進協議	会等の5	八高	線の複線化や拝島駅				
	つの協議会により他市と			いてJ 会)	R八王子支社へ要請	を行った(八高線八	王子•高麗川間複線化促進協議		
	者等へ広域的かつ各地域			• 八高					
	た要望活動を行う。また					対策課 担当 後藤・吉村 内線2509 実施根拠 (法令、要綱等) 実施根拠 (法令、要綱等) 法令による事業実施義務			
事	の解消を目的としたコミ		4バス)の	するよ	う等要請を行った()	三鷹・立川間立体化	複々線促進協議会)		
事務	継続的な運行を維持する	0		・青梅	線運行及び各駅の設備	備改善等に関する要 利用者物は120.425	望を行った(市及び市議会)		
事									
事業				広場への	の乗り入れ要請を実施	施した(市)			
概	コスト	(単位) 27決算	28当初	予算	28決算	29当初予算	備考く特財名称等>		
要	直接事業費	千円 63,39		197	45,977		10.0 × 10.0 ×		
	国庫支出金	千円	0 10,	101	10,011	10,101	-		
	財 加士山 仝	千円					_		
	ぶ おき は	千円					-		
	クタルサウサル	千円					-		
		千円 63,39	6 46	197	45,977	46,497	-		
	一般職員人件費	千円 2,42		490	2,394	·	-		
	人工数		0.30		0.30	·	-		
	再任用職員人件費	千円							
	人工数	人							
	総事業費	千円 65,81	7 48,0	687	48,371	48,993	-		
	個別評価 ※ 別紙	「事務事業評価基							
	①優先度(どの程度優先	tされるへさか)	5	乙安	当性(美肔刀	法は妥当 じめん	වා) <u> </u>		
	交通対策課に属する			M/II	各協議会におけ	る会議は定期的	に開催され、鉄道事業者		
由	判事業のうち、当該事業	€の優先度は1番目	目である。	判等	への要請活動に	ついても継続的	に実施されている。コ		
事務	理								
伤击	由								
事業	Ш			Ш/			13 1 NO.		
評	 ③達成度(成果はどの科	早度あるか)	2	፞∕₄なか	落性 (动家的	に宝饰できた。	<i>t</i> n) 3		
価				⊕ <i>\</i> //					
ІШ	鉄道事業者に対する要請 判 客が大きく増加しないこと	達成については、市内	各駅の乗降	判工					
	断り時間を要する。また、バ	V事業負が高額となる ス事業者へ一般路線が	こと寺によ	NI/C					
	西武立川駅南口及び東中神	駅北口交通広場への乗	り入れを要						
	請した結果、ルートを一部 業者からの合意を得られる	変更することで調整す	るという事		: し51いに場合、 ある。	、コストとサー	一ヒ人重ともに使はい		
	来自からの日本を持ちれる				<i>න</i> ු න ං				
課	第五次総合基本計画前			今往	後の 一				
題	Aバスの年間乗客数は					C 抜本的な見	直し		
لح	人(0.8%増)の増加とる 合基本計画での平成32年				0選択)				
と今	人に対し、平成28年度3			₩ =	つの年度マダ				
後	には達していない。						具体的な取組 部等課題はあるが、		
の	また、Aバス車両の故	障に備えた予備す	■の追加が				^{2加寺課選はめるが、} こり効果的な事業の実		
方	今後の課題となっている				といり見用が多数のる。	u 小 C コ へ、 O	ヽソがたらがみず未り大		
白				زاداد	,, o, o,				
性				1					

	事務事業名				担当	部署			
					部	都市整備部		角田	郁夫
+	交通安全啓発事業				課	交通対策認	果 担当	吉村•	後藤
 					係	交通安全的	系電話	内線25	509
基本デ	第五次総合基本計画に	おける	が置付け		1		実施根	拠く法令、	要綱等>
ア	政策項目 01 心ゆきか			い地域を	t会の	形成)			
タ	大項目 02 ともに守	る (安:	全・安心の確	保)			父	È対策基本 i	ち
9	中項目 03 交通安全						法令に	よる事業実	施義務
	個別計画(年度) 昭島	市交通	安全計画 平	⁷ 成28年	度~「	平成32年度	☑義務	(市上乗せむ	あり)
	予算科目コード 款	02	項 O1 E	10	細目	001 細々目	O1 □任意	(□ 都補助等な	あり)
	目的								
	<対象は誰、何か>				<対象	象をどの程度の	状態にするこ	とを意図し	ているか>
	市民及び市内道路通行	者				民一人ひとりの	D交通安全意識	を高め、交	通事故防
					止を[図る			
	実施内容					成果			
	様々な機会を用いて交通安全 とりの交通安全意識を高め、交					タントマンによ			
	連絡協議会の開催、市内各所へ				1,035名、新元				
	児童へのランドセルカバーの配	(園児へのぬり絵	の配布、		布1000枚、新入園児へのぬり絵等の配布970冊、横断旗の補充2,000本、反射材の配布1,855枚、交通事				
	老人クラブ連合会や市内高校生 察・安協との駅頭等における啓					が補元2,000½ 止を図るため∅			
事	啓発活動、中学校自転車交通安	i元イヤン 全教室、	アベーク、文通ダ 学校及び地域住	まロ半朔 :民等との					
務	通学路点検、スクールゾーン用	進入防山	上柵と横断旗の作	製設置、	信号機設置要望21箇所・改善要望27件。通学路等の 危険個所点検19地域。				
事業	警察への信号機設置や取締りの	強化等要	要望の実施。			成28年中の市		牧件数は、(D件。
業		(2411)	071+77	001/47					
概	コスト	(単位)	27決算	28当初		28決算	29当初予算	備考く特別	7名称等之
要	直接事業費	千円	4,529		549	2,512	2,569		
	国庫支出金 財 都支出金	千円						-	
	源地方債	千円							
	クラルサウサガ	千円						1	
		千円	4,529	21	549	2,512	2,569		
	一般職員人件費	千円	5,649		810	5,586	5,824		
	人工数	人	0.70		0.70	0.70	0.70		
	再任用職員人件費	千円				00	00		
	人工数	人							
	総事業費	千円	10,178	8,3	359	8,098	8,393		
	個別評価 ※ 別紙	「事務	事業評価基準	隼」によ	る				
	①優先度(どの程度優先			3	(2) <u>w</u>	当性 <i>(</i> 宝饰方)	はけ辺当である	スかり	3
				3	②妥当性(実施方法は妥当であるか) 3				
	法令等による義務付	けけのを	る事業			子どもと高齢			
事	断				断版	動は、昭島警察 、各種団体、i	祭者、昭島父년 第中東世老笠 1	∄女王肠云、 < 今日不完む	中内学
務	理				理る) 安白某使囚机		
事	<u> </u>					0			
事業									
評	③達成度(成果はどの科	呈度ある	るか)	3	4 効	率性(効率的	に実施できたが	(יכ	3
価	市内の交通事故件数	tit. 5	 年前に比べ1	40%		総事業費を前名	王の27年度と	比較すると	2.080 T
	判減ルしている。また。				判四	減額となってし			
	断 佐数は 平成26年78				断動	車購入費を含ん	んでいる為、こ	これを差し引	
	理続している。由				理当由	ストとサービ	ス量ともに横は	払いである。	
					ш				
課	第五次総合基本計画前					40		向けて実施方法	
題	第五次総合基本計画前					後の	B コスト改善 C 抜本的な見	に向けて実施方	i法を見直し
起と	32年の目標値である交通					匀性 一	D 縮小・廃止	_	
	平成28年度実績は393位	件と既	に目標値以下	に減少			E 現状を維持		
今後	している。	おもって	13711話庁座の	(章) (1章		30年度予算網			
の	今後の課題として、事齢者へのより効果的な取					状どおり警察署			
方	る。	・ファロップ		S (S)	划果 ²	を考え、よりタ	別果的は事業の	実施に劣め)る。
自	• • •								
性									

	事務事業名				担当	部署				
					部	都市整備部				
其	交通安全運動事業				課	交通対策				
士					係	交通安全的				
基本デ	第五次総合基本計画に						実施根	<u> 拠<法令、</u>	要綱等>	
1	政策項目 01 心ゆきか 大項目 02 ともに守				t会のi	形成)	交通安全	è対策基本法	7	
タ	中項目 03 交通安全						法令に	よる事業実	施義務	
	個別計画(年度) 昭島	市交通安全	全計画平	7成28年	度~エ	平成32年度	□義務			
	予算科目コード 款	02 項	01 E	10	細目	002 細々目	O1 ☐ 任意	(■ 都補助等を	うり)	
	目的									
	<対象は誰、何か>									
	市民、保育園、幼稚園、	小中高学	校、企業等	の交通	市民-	一人ひとりの3	で通安全意識を	古村・後藤 内線2509 古村・後藤 内線2509 市線2509 市線2509 市線2509 市線2509 市線2509 市場 市場 市場 市場 市場 市場 市場 市		
	安全運動実施団体				を図る	る				
	実施内容					成果				
	春と秋の全国交通安全運動					自転車のルール・マナー等に関する啓発運動を中心 に実施した。また、道路交通法の改正による自転車運				
	通安全キャンペーン(12月室(7月)・交通安全運動が									
	幺(7月)・父週女王運動 り、保育まつり(11月)・									
	全運動期間中の早朝啓発活動	動(広報車	による早朝	呼びか				!、日転里寺	1	
事	け)高齢者シルバーリーダ [、]	ーや交通安:	全運動実施	団体(安	体(安 ガヨに刈りる周和で天心した。 体(安 ・世界トラー 巫典20年中の寺内な浮形で声:					
務	全協会、学校関係、商工会、			取組み要		未として、平原 であった。	なての十十ついけ	ツス 世がしま	単以什致は	
事業概	請・横断幕の掲出・街頭キー	ヤンベーン			OII	(4))/(0				
業										
機	コスト		27決算	28当初]予算 627	28決算	29当初予算	備考く特則	才名称等>	
要	直接事業費	千円	602	602 6		576	627			
	国庫支出金財がおり	千円								
	海四文山立	千円								
	内地の領	千円								
	でする	千円	600		207	576	607			
=	一般的源 一般職員人件費	千円	602 2,421		627 490	576 2,394	2,496			
	人工数	人	0.30		0.30	0.30	0.30	1		
	八二数 再任用職員人件費	千円	0.00		<i>)</i> .00	0.00	0.00			
	人工数	人								
	総事業費	千円	3,023	3.	117	2,970	3,123			
	個別評価 ※ 別紙		業評価基準	- ,		2,010	3,123			
						N/44 /	\	7 ()	4	
	①優先度(どの程度優先度) 法令等による義務的		_ ,	3					•	
	判が一次である。	50000 CIE	争未		判由	当改争未はい、 心としてなる。	, 哈岛言余者 、 安全潘動宝栋R	"哈岛父迪女 3休(安全长	女主励云で なく 学校	
事	断				四日	係、商工会、統	x主建勤失施设 跌道事業者等)	プログラス と合同でま	節にてい	
務	理				埋る					
事業	曲				由室	(7月)を開催	崖した。			
業評	 ③達成度(成果はどの科	甲疳なるか	1)	3	金		に宝饰できた。	61)	1	
価					0				•	
,—	市内の交通事故件数 減少している。また、	以は、5年度 20年度3	別に比べてを	4.0% 亡事物						
		204反/	へいけい しょうしょうしょう スタロ 間へを	∟∌収 ±を継	断比				10別十垓	
	埋はしている	3691,0		十二帅	埋	- 10/0LXP302		_/d J/C。		
	由				由					
=m	 第五次総合基本計画前	半期の評	価と今後の	の課題			A 成果拡大に	 向けて実施方法	を見直し	
課	第五次総合基本計画前					後の一	B コスト改善	に向けて実施方		
題	32年の目標値である交通				方向		〇 坂本的な見			
2	平成28年度実績は393億				(右より		E現状を維持			
今後	している。	·+	フド エ ・ナ	<u> </u>	平成	30年度予算網	編成における	具体的な取	双組	
	今後の課題として、事				現	伏とおり費用x	対効果を考え、	現況のイベ	ント内容	
の方	齢者へのより効果的な取 る。	り組みを	快訓96必	安かめ	をより	り効果的に実施	できるよう検	討していく	0	
自	る 。									
性										

	事務事業名				担当				
					部	都市整備			郁夫
其	交通安全協会補助事	業			課	交通対策		吉村•	
基本					係	交通安全的		内線2	
一デ	第五次総合基本計画に				実施根拠<法令、要綱等>				
	政策項目 01 心ゆきか		きしま(明る		1会の形成) 昭島交通安全協会に対する補助金				
タ	大項目 02 ともに守	る(安	全・安心の確	保)			交付要綱		
9	中項目 03 交通安全						法令に	よる事業乳	E施義務
	個別計画(年度)				□義務(□ 市上乗せあり)				
	予算科目コード 款	02	項 O1 E	∃ 10	細目	004 細々目	O1 < 任意	(都補助等	あり)
	目的								
	<対象は誰、何か>				<対象	象をどの程度の)状態にするこ	とを意図し	ているか>
	昭島交通安全協会				市	民組織の拡大と	ニ活動の活発化	どを促進し、	交通道徳
					の高	場と交通事故の	り防止する。		
	実施内容				実績	成果			
	• 春と秋の全国交通安全運	勆			交:	通安全協会は「	・警察と合同	で実施する	3交通安全
	・TOKYO交通安全キャ	ンペー	ソ			活動以外にも、			
	・交通安全日(毎月10日、 ・ 交通安全日(毎月10日、 たばり)		ひかけ)	くじ	ら祭りや地域流	5動上必要とな	なる祭事や	幸儀でも、	
	・産業祭り(11月)などへ 交通道徳の高揚と交通事	多別しなの防に	へいる。 Fを日的として	地域の		整理等道路上位			
事	交通安全活動を行う「昭島					の会員数は約3		市中2番目	であるな
事務	し団体育成を行うとともに				と交:	通安全に対する	5意識が高い。		
事業概									
概	コスト	(単位)	27決算	28当初	了	28決算	29当初予算	備考く特	財名称等>
要	直接事業費	千円	2,479		597	2,597	2,597		
	国庫支出金	千円							
	財	千円						1	
	ぶ おちき	千円						1	
	クラルサウサケ	千円						1	
		千円	2,479	2.5	597	2,597	2,597		
	一般職員人件費	千円	807		830	798	832		
	人工数	人	0.10		0.10	0.10	0.10		
	再任用職員人件費	千円	0,10		3,10	0.10	3.10	1	
	人工数	人							
	総事業費	千円	3,286	3,4	427	3,395	3,429		
	個別評価 ※ 別紙		事業評価基準	隼」によ	る			I.	
	①優先度(どの程度優先	ヒさわこ	スペキか)	4	(2) <u>12</u>	当性(実施方	注け	スか)	3
				•					
	判 変通対策課に属する 判 事業のうち 当該事業					市と協会の情			
事	判 事業のうち、当該事業 断	きの優々	た度は2番目で	である。		との協議に加:			
務	理					できるよう調			
重	±				由谷	等について協	譲を里ねている	くよつに変	更した。
事業									
評	③達成度(成果はどの科	程度ある	るか)	3	④ 効	率性(効率的	に実施できた。	<i>(</i> יל	3
価			,						
100	市内の交通事故件数 判 減小している。また					補助金の額は			
	119/9 C CVI 00 6/C					1日現在の昭は			
	断 件数は、平成26年7月 理 続している。	まみり	1,002日间01	十七祁	理い	おり、この単位	画は 半 成り牛a	り変更され	ICUIA
	曲がしている。				— ·	。 ストとサービ)	フ景はともにホ	苦げいである	z
		\\/ \\ 0.4	5部件レクル	∞ =⊞85		X1 C 7 C.			
課	第五次総合基本計画前 第五次総合基本計画前				今後	後の 一		向けて実施方法 に向けて実施が	
題	第五次総合基本計画的 32年の目標値である交通						C 抜本的な見	.直し	
ك	平成28年度実績は393					0選択)	D 縮小・廃止 E 現状を維持		
今	している。	11 CM	うしいまになり	1011717	TT Et	 30年度予算網			日本日
後	今後の課題として、事	故割合	。 及び重症度σ	高い高		30年度予算i 状どおり費用対			
の	齢者へのより効果的な取					いてのり負用を に努める。		ふり刈木□	ッの子木ツ
方	る。				J\1001				
白									
性									

	事務事業名				担当					
					部	都市整備部		角田		
基	自転車等駐車場管理				課	交通対策		町田・		
大					係	交通安全的		内線25		
本デ	第五次総合基本計画に						実施根	拠く法令、	要綱等>	
ĺĺ	政策項目 01 心ゆきか				t会のi	形成)		昭島市自転車等の		
タ	大項目 02 ともに守 中項目 03 交通安全	る (女)	全・安心の確	保)	関する条例、昭島市自転車等駐車場条例					
	個別計画(年度)				法令による事業実施義務 () 義務() 市上乗せあり)					
	予算科目コード 款	02	項 O1 E	13	细口	001 細々目				
	日的	02	項 U I E	1 13	邢田田			(二) 部補助守(()())	
	日間 <対象は誰、何か>				 <対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	・市民及び駅周辺への乗	い入わ	白転車		歩行者の安全確保と防災活動等を確保するため駅周					
	・駅周辺を中心とした道			9	辺の道路上の放置自転車等をなくすこと。また、自転					
				,	車等	駐車場を適正門	3%に管理する	。 3こと。	,,c,	
	実施内容					成果				
	駅周辺の放置自転車等をなくすために設置された					成28年度の想 328年度の想	定年間利用者	数は延べ3,2	261 	
	自転車等駐車場の適正円滑な管理。					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,	<i></i>		
	①指定管理者による管理		た、28年度の							
	②直営事務(施設修繕、	自転車	駐車場用地賃	借事_		か1,341台とは	北較すると11	.7%の放置	自転車の	
事	務、使用料収納事務委託	、使用	料の還付事務	、使用	減少	が図られた。				
務	料免除事務)	4t 4 0 4 4	004							
務事業概	施設数19箇所、収容総数	数13,10	098							
業										
	コスト	(単位)	27決算	28当初		28決算	29当初予算	備考<特別	才名称等>	
要	直接事業費	千円	153,678	153,	324	152,247	147,400	その他特定		
	国庫支出金	千円						• 行政財産		
	財都支出金源地方法	千円						・自転車等	駐車場使	
		千円	100000					用料		
		千円	130,608 148,			130,864	142,555			
	一般財源	千円	23,070		794	21,383	4,845			
	一般職員人件費	千円	8,070		300	7,980	8,320			
	人工数	人工四	1.00		.00	1.00	1.00			
	再任用職員人件費	千円								
	人工数 総事業費	人 千円	161,748	161.6	32 <i>1</i>	160,227	155,720	_		
	個別評価 ※ 別紙		事業評価基準	,		100,221	100,120			
									4	
	①優先度(どの程度優先	もされる	6べきか)	3	2)安	当性(実施方法	法は妥当であ.	るか)	4	
	法令等による義務付	けのあ	る事業		Mail	指定管理者との	の協議により-	一部施設で繁	&忙時間以	
事	判断				外断	を無人化し近	妾施設で受付す	する等実施力	方法を前年	
務	理				理度	と変更した				
重	由				由					
事業										
評	③達成度(成果はどの科	星度ある	るか)	3	4効	率性(効率的	に実施できた	か)	4	
価	- 平成28年度の利用	ナ米カノナス	ほべつ 261エ			夕田钰利田安	力手指の発売な	カタ話体乳の	•	
	判 また、28年度の放					多国語利用案「 新規で実施する				
	断 台で前年の1341台と				断量	業費は前年と				
	埋 白転車の減小が図られ		<i>,</i> GC 11.170		埋た		±10%以内の		40.0 3	
	由 日				b					
-m	第五次総合基本計画前	半期の)評価と今後	の課題			A 成果拡大に	向けて実施方法	を見直し	
課							B コスト改善	に向けて実施方		
題と	近年、市営の自転車等駐車場よりも駅の近くに民間の時間貸し駐輪場が7箇所オープンしたため、市						C 抜本的な見 D 縮小・廃止			
ک △	営駐輪場の利用者が民間	施設へ	移行し利用者	が減少	(右より) 送択)	E 現状を維持			
今後	している。	田守了	♪ シ≧□+∞▷◂□⋅□	±±±		30年度予算網				
の	│ また、中神駅南口の利 り、利用できない方から					中神駅自由通路				
方	が多くなっている。	い成分	いですないができる。	り女業		設を解体し、佐				
自	ころ タ へな ノ しいじ。					西側の再整備に			が他設を整	
性					順し、	、駅周辺の放置	国日転里刈束を	と図る。		

	事務事業名				担当	部署			
					部	都市整備語	部課長	角田 1	郭夫
₩	放置自転車対策事業				課	交通対策	果 担当	町田・フ	大滝
基					係	交通安全		内線25	
本デ	第五次総合基本計画に	おける	が置付け		1713	スペスエ		拠く法令、	
デ	政策項目 01 心ゆきか			.1. \ t-th t-武 之・	t 合のi	ド _で			
	大項目 02 ともに守				L ZZ UJ)	121947	日転単法、 止等に関	、昭島市自転車 する条例	寺の双直的
タ	中項目 03 交通安全	る (女.	土・女心の別匿						佐羊叉
								よる事業実	
	個別計画(年度)	00	T 04 5	7 40	√ m □		☑義務		
	予算科目コード 款	02	項 O1 E	13	細目	002 細々目	O1 ☐任意	(都補助等を	50)
	目的								
	<対象は誰、何か>					象をどの程度σ			
	・駅周辺への乗り入れ自	転車				行者の安全確保			ため駅周
	・駅周辺等の道路				辺の道路上の放置自転車等をなくすこと				
	実施内容				実績	• 成果			
	交通安全上道路通行の	なる放置自転	車への		28年度実績				
	警告・撤去(移送)、撤				自転車撤去台数	女 1,185台			
	所有者照会、返還通知、			台数 541台	_				
	き取り手のない自転車を	分し、協定を	締結す		イクル台数(8)	326台			
事	る市内輪業組合がリサイ								
務	る、保管所の維持管理。				放記	置自転車の撤る	5台数は1,18	5台で前年の)1,341台
伤					放置自転車の撤去台数は1,185台で前年の1,341台と比較した場合11.7%放置自転車が減少している。				
事業									
美		(2)(11)	07)+7/5	001/47			001/4777		+ <i>D 16 k</i> >
概	コスト	(単位)	27決算	28当初		28決算	29当初予算		
要	直接事業費	千円	12,080	11,8	388	10,858	11,686	その他特定	
	国庫支出金財がおり	千円						・自転車等	紅甲場伊
	海田文山立	千円						用料 • 放置自転	市坳土炽
		千円						→ 放直日転 管手数料	字
		千円	-		144	2,401	10,443	・リサイク	山白起市
	一般財源	千円	7,166		744	8,457	1,243	売却代金	ル日料里
	一般職員人件費	千円	-		300	7,980	8,320	7070177	
	人工数	人	1.00	1	.00	1.00	1.00		
	再任用職員人件費	千円							
	人工数	人							
	総事業費	千円	20,150	20,	188	18,838	20,006		
	個別評価 ※ 別紙	「事務	事業評価基準	隼」によ	る				
						<u> </u>	キオッツズキ	フカン	2
	①優先度(どの程度優先	talle	いくらかり	3	公女	当性(実施方	法は安ヨである	ON')	3
	法令等による義務付	けのあ	る事業		No.	駅周辺道路での	放置自転車等に	対する注意警	告活動は、
_	判				判朝	の繁忙時間帯を	終えた自転車等	駐車場の管理	員(指定管
事	断				断理	者業務の一環)	が主に実施して	おり、放置自	転車警告撤し
務	理					移送業務にかか は駅前広場等道	る實用は大幅に 吸の転担未託竿	即減でさてい	る。(他巾
事業	曲				曲で		始の重視女託寺	により別争未	CUCVI
業			- 4.5	4					
評	③達成度(成果はどの科	呈度ある	3か) The state of the state o	4	4	率性(効率的	に実施できただ	か)	3
価	放置自転車撤去台数	tit. 5	駅で年間111	85台と		コストは前年	\$比+10%以	内の1.312	千円減で
	判1ロあたり3つ台と輝き			0000	判ね	コスト ISB ー/ る。また、サ [・]			113//4/ C
	迷 灯	ICILIA	C 0 5 0 0		断	3 000000	こべ至の深い	o.v . c u y u o	
	理				理				
	曲				由				
	 第五次総合基本計画前	半胡不	が価と今後	の調画			Λ ct=+c+/c	向けて中歩モナ	た日応!
課	第五次総口基本計画制 誰もが安心して快適に				今後	後の 一		向けて実施方法 に向けて実施方	
題	- 誰もが安心して快適に -環として、1台の放置				方向		C 抜本的な見	直し	
٢	一環として、 日の放画 らないよう迅速な対応に				右より		D 縮小・廃止		
今	ては、駅前広場等に隣接	カめて	いる。 みた財	に注当	TT (45	20年中マダ	E 現状を維持		760
後	日本とのトラブルや、民					30年度予算			
$\widehat{\mathcal{O}}$	への対応が課題となって		·たた/ムッエ+m タ			構中である東口 まま三笠の記号			
方	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	v · w				刻表示等の設置	宣专队直目転車	型刈束を図る	0
向									
性									

	事務事業名				担当	可者 (1)				
					部	都市整備	部課長	角田 郁夫		
	道路維持管理				課	交通対策		後藤・吉村		
基	尼四吨306 年									
太		1-1-1-	a /		係	交通安全		内線2509		
本 デ	第五次総合基本計画に		5位置付け				実施根	拠く法令、要綱等	\$>	
	政策項目 05 基盤を築	< b	きしま(快適	な都市等	間の	整備)	東京都屋外	広告物条例・市町村におけ	する東	
	大項目 01 ともに築				_,		京都の事務	京都の事務処理の特例に関する条例		
タ	中項目 01 道路	` (17日全血 7万正開	17			注合に	法令による事業実施義務		
									カ	
	個別計画(年度)									
	予算科目コード 款	08	項 02 目	3 02	細目	001 細々目	O1 □ 任意	(都補助等あり)		
	目的									
	<対象は誰、何か>				< \$t1€	多をどの程度の	分け能にするこ	とを意図しているた	か>	
	違反広告物(道路上の	. /. \ + + #h	TICREMOIT C	かた				見を回復、交通安全		
			川に見り フリク	21 6/0			可し、 国の京都	はで凹後、文地女土	-	
	はり札、はり紙、看板類	!)			の文章	障をなくす。				
	実施内容				実績	成果				
	市・昭島警察・違反広	告物培	大協力員によ	る違反		度実績				
	広告物の撤去活動。市内					ったん。 広告物の撤去権	ケ米ケイク タフィオ	₹ 7		
		عاس ت	JO, HROM	החומכצי	19 E /	出動回数 578	X数 12,0711 1回	X		
	除却し廃棄する。				び あじ	五割凹数 ひん				
事										
務										
古										
事業										
業										
概	コスト	(単位)	27決算	28当初]予算	28決算	29当初予算	備考く特財名称等	手>	
要	直接事業費	千円	125		129	109	114	その他特定財源		
	」国庫支出金	千円			·			• 道路使用料(管	押	
		千円						課)	,	
		千円								
	その他特定財源	千円	113		99	98	99			
	一般財源	千円	12		30	11	15			
	一般職員人件費	千円	2,421	24	490	2,394	2,496			
			٠,٠٠		- 00					
			0.30		7.30	0.30	0.30			
	人工数	人	0.30		0.30	0.30	0.30	-		
	人工数 再任用職員人件費	人 千円	0.30		0.30	0.30	0.30			
	人工数 再任用職員人件費 人工数	人 千円 人								
	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費	人 千円	0,30 2,546	2,6	619	0.30 2,503	2,610			
	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費	人 刊 人 刊	2,546	2,6	619			-		
	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙	人 千円 人 千円 「事務	2,546 事業評価基準	2,6 隼」によ	619 る	2,503	2,610			
	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費	人 千円 人 千円 「事務	2,546 事業評価基準	2,6	619 る		2,610	るか) 2		
	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優先	人 千円 人 千円 「事務 たされ	2,546 事業評価基準 るべきか)	2,6 隼」によ	619 る ②妥	2,503 当性(実施方	2,610 法は妥当であ [。]			
	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優先	人 千円 人 千円 「事務 たされ	2,546 事業評価基準 るべきか)	2,6 隼」によ	619 る ②妥	2,503 当性(実施方 撤去等活動は	2,610 法は妥当であ 、市・昭島警察	 察署・市民で組織さ	され	
車	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優先) 法令等による義務を	人 千円 人 千円 「事務 たされ	2,546 事業評価基準 るべきか)	2,6 隼」によ	619 る ②妥 判る	2,503 当性(実施方 撤去等活動は、 撤去協力員の	2,610 法は妥当であ 、市・昭島警察 3者が一体的に		され	
事数	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優欠 法令等による義務何料 断	人 千円 人 千円 「事務 たされ	2,546 事業評価基準 るべきか)	2,6 隼」によ	619 る ②妥 判断	2,503 当性(実施方 撤去等活動は	2,610 法は妥当であ 、市・昭島警察 3者が一体的に	 察署・市民で組織さ	され	
事務事	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優欠 法令等による義務を 判断 理	人 千円 人 千円 「事務 たされ	2,546 事業評価基準 るべきか)	2,6 隼」によ	619 る ② 彩 断理	2,503 当性(実施方 撤去等活動は、 撤去協力員の	2,610 法は妥当であ 、市・昭島警察 3者が一体的に	 察署・市民で組織さ	され	
事務事	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優欠 法令等による義務何料 断	人 千円 人 千円 「事務 たされ	2,546 事業評価基準 るべきか)	2,6 隼」によ	619 る ②妥 判断	2,503 当性(実施方 撤去等活動は、 撤去協力員の	2,610 法は妥当であ 、市・昭島警察 3者が一体的に	 察署・市民で組織さ	され	
事業	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優欠 法令等による義務を 判断 理	人 千円 人 千円 「事務 たされ	2,546 事業評価基準 るべきか)	2,6 隼」によ	619 る ② 彩 断理	2,503 当性(実施方 撤去等活動は、 撤去協力員の	2,610 法は妥当であ 、市・昭島警察 3者が一体的に	察署・市民で組織さ こ実施している。 実	され E施	
事業	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優労 法令等による義務で 判断 理由	人 千円 人 千円 「事務 たされっ	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業	2,6 集」によ 3	619 る ② 判断理由	2,503 当性(実施方 撤去等活動は、 撤去協力員の 法は前年と同	2,610 法は妥当である。 市・昭島警察 3者が一体的に じ。	察署・市民で組織さ こ実施している。 実	され E施	
事業評	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優労 法令等による義務を 判断 理由	人 千円 人 千円 「事務 たされ。 けのな	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか)	2,6 算」によ 3	619 る ②妥 判断理由 ④効	2,503 当性(実施方 撤去等活動は、 撤去協力員の 法は前年と同 率性(効率的	2,610 法は妥当である。 市・昭島警察 3者が一体的に じ。	察署・市民で組織さ に実施している。 ま	きれ 尾施	
事業	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優労 法令等による義務を 判断 理由 ③達成度(成果はどの程 28年度は12,3717	人 千円 「事務 たされ」 は対のを	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街	2,6 集」によ 3	619 る ② 判断理由 ④ 効	2,503 当性(実施方 撤去等活動は 撤去協力員の 法は前年と同 率性(効率的 各地域住民か	2,610 法は妥当である。 市・昭島警察 3者が一体的に に実施できた。	察署・市民で組織さこ実施している。 実か か 3 き物撤去協力員は、	れ 覚施 ボ	
事業評	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優別 法令等による義務を 判断 理由 ③達成度(成果はどの程 りなる通信を維持する	人 千円 「事務 たされ」 けのな	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街	2,6 集」によ 3	619 る ② 判断理由 ④ 判 判 利	2,503 当性(実施方 撤去等活動は 撤去協力員の 法は前年と同 率性(効率的 各地域住民か	2,610 法は妥当である。 市・昭島警察 3者が一体的に に実施できた。	察署・市民で組織さ に実施している。 ま	れ 覚施 ボ	
事業評	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優別 法令等による義務を 判断理由 ③達成度(成果はどの程度の利益を表する) 28年度は12,371を や交通環境を維持する	人 千円 「事務 たされ」 けのな	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街	2,6 集」によ 3	619 ② 判断理由 ④ 判断 ラス	2,503 当性(実施方 撤去等請した) 撤去協力と同 率性(効率的 各地域に関する シティアあ	2,610 法は妥当である。 市・昭島警察 3者が一体的に に実施できた。	察署・市民で組織さこ実施している。 実か か 3 き物撤去協力員は、	れ 覚施 ボ	
事業評	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優別 法令等による義務を 当 が交通環境を維持するあった。	人 千円 「事務 たされ」 けのな	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街	2,6 集」によ 3	619 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2,503 当性(実施方 撤去等活動は 撤去協力と同 率性(効率的 各地域にである のである。	2,610 法は妥当であ 、市・昭島警察 3者が一体的に じ。 に実施できただ り土日祝日にあ	察署・市民で組織さ こ実施している。 実 か) 3 き物撤去協力員は、 おいても活動してい	れた。ボ	
事業評	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優別 法令等による義務を 判断理由 ③達成度(成果はどの程度の利益を表する) 28年度は12,371を や交通環境を維持する	人 千円 「事務 たされ」 けのな	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街	2,6 集」によ 3	619 ② 判断理由 ④ 判断理由 の うる	2,503 当性(実施方 撤去等請して 撤去協師年と同 率性(効率的 を地域でである。 また、コスト	2,610 法は妥当であ 、市・昭島警察 3者が一体的に じ。 に実施できた。 り、土日祝日にな は前年度比土	察署・市民で組織さ に実施している。 実 か) 3 き物撤去協力員は、 おいても活動してい 10%以内の43千円	れた。ボ	
事業評	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優別 法令等による義務を 当 が交通環境を維持するあった。	人円のを持ちます。	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街	2.6 3 の景観の成果が	619 ② 判断理由 ④ 判断理由 の うる	2,503 当性(実施方 撤去等活動は 撤去協力と同 率性(効率的 各地域にである のである。	2,610 法は妥当であ 、市・昭島警察 3者が一体的に じ。 に実施できた。 り、土日祝日にな は前年度比土	察署・市民で組織さ に実施している。 実 か) 3 き物撤去協力員は、 おいても活動してい 10%以内の43千円	れた。ボ	
事業評価	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優別 法令等による義務を 当 が交通環境を維持するあった。	人円のを持ちます。	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街	2.6 3 の景観の成果が	619 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	2,503 当性(実施方 撤去協う) 撤去協う年と同 率性(対すって) をでして、でいてのできる。 をはずっている。 をはずっている。 をはずっている。 をはずっている。 をはずったいる。 をはずったいる。 はずったい。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったい。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったいる。 はずったい。 はずったい。 はずったい。 はずったい。 はずったい。 はずったい。 はずったい。 はずったい。 はずったい。 はずったい。 もずっと。 はずったい。 もずったい。 もずったい。 もずったい。 もずったい。 もずったい。 もずったい。 もずったい。 もずっと。 もずった。 もずっと。 もを。 もを。 もを。 もを。 もを。 もを。 もを。 もを。 もを。 もを	2,610 法は妥当である。 市・昭島警察 3者が一体的に に実施できた。 に実施できた。 り土のは前年度にある。 は前年である。	察署・市民で組織さこ実施している。まか) 3 き物撤去協力員は、おいても活動している。10%以内の43千円で実施方法を見直し	れたが、ボーボ・河域・	
事業評価課	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優別 法令等による義務を 当 が交通環境を維持するあった。	人円 「事務 たされかる と関係を といる といる といる といる といる といる といる といる といる といる	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街 こついて一定の	2.6 集」によ 3 4 の景観が	619 妥 3方 効 うる で 今後	2,503 当性(実施方 撤去協前年と同 を地テスに一 のませて、ビックのはアコス はができる。ませ、 をかった。ませ、 をかった。ませ、 をのった。ませ、 をのった。ませ、 をのった。ませ、 をのった。ませ、 をのった。ませ、 をのった。ませ、 をのった。ませ、 をのった。ませ、 をのった。ませ、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。こと、 をのった。 との。 との。 との。 との。 との。 との。 との。 との。 との。 との	2,610 法は妥当であ、 市・昭島警察 3者が一体的に じ。 に実施できた。 り土日視日にる は前年である。 は前年である。 は、成果拡大に B コスト改善	京署・市民で組織さ に実施している。ま か) 3 き物撤去協力員は、 おいても活動している。 10%以内の43千円 同けて実施方法を見直し に向けて実施方法を見直した。	れたが、ボーボ・河域・	
事業評価 課題	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優労 法令等による義務が 財断理由 ③達成度(成果はどの利 や交通環境を維持する あった。 第五次総合基本計画前 街の景観維持及び、誰	人 一 大円 大円 下事務 たされった 対けのな 半 関係 大円 大円 大円 大円 大一 大円 大一 大一 大一 大一 大一 大一 大一 大一 大一 大一	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街 こついて一定の D評価と今後 むして快適に	2.6 事」によ 3 4 の就果が の課題で	613 ② 判断理由 ④ 判断理由 今方	2,503 当性(等協力) 第大法は前年とは「はなった」の性ではは、これでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	2,610 法は妥当であ 市・昭島警察 3者が一体的が じ。 に実施できただ り土日である。 は前になる。 は前になる。 は成ばい 成果ストのな見 の は 成成 大口 である。	察署・市民で組織さこ実施している。 集かり 3 き物撤去協力員は、おいても活動している。10%以内の43千円向けて実施方法を見直しに向けて実施方法を見直しに向けて実施方法を見直しに向けて実施方法を見直し	れたが、ボーボ・河域・	
事業評価 課題と	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優別 法令等による義務が 当まのでは、 28年度は12,371で や交通環境を維持する あった。 第五次総合基本計画前 街の景観維持及び、誰 きる交通環境整備の一環	人円人工事務にされる。 とは、大円人のおけられる。 とは、大円人のような、大円のような、大円のような、大円のような、大円のよりな、大円のような、大円のよりな、大円のよりな、大円のよりな、大円のよりな、大円のよりな、大円のよりないまな、大円のよりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりな	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街 こついて一定の の評価と今後 でい、違反広告物	2.6 集」によ 3 4 景果が の説 の説 の説 の説 の説 の の の の の の の の の の の の	619 妥 3方 効 うる で 今後	2,503 当性(等協力) 第大法は前年とは「はなった」の性ではは、これでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	2,610 法は妥当であ、 市・昭島警察 3者が一体的に に実施できた。 に実施できたは り土 6 成立 5 日 日 日 度 である。 は前ば A 成 5 日 日 度 である。 は前ば A 成 5 日 日 度 である。 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	察署・市民で組織さこ実施している。実施している。実施している。実施が対象を表現では、おいても活動している。10%以内の43千円に向けて実施方法を見直しまに向して実施方法を見直しまに向してまた。	れたが、ボーボ・河域・	
事業評価 課題と	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優好 法令等による義務が ※	人円人工事がは、対けのなどは、対けのなどは、対けのなどは、対けのなどは、対けのなどは、対して、対して、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 しており、街 しており、街 こついて一定の で、 違反して広広いる に、 等めている	2.6 集」によ 3 4 景果 の成 源行撤ま る。3	619 妥 判断理由 ④ 判断理由 今方 _は	2,503 当性(実施方 放表は 対表表は を性(対する) をから をかった。 とかった。 とがった。 とがった。 とがった。 とがった。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがった。 とがっ。 とがっと。 とがっ。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とがっと。 とが。 とが。 とが。 とが。 とが。 とが。 とが。 とが。 とが。 と	2,610 法は妥当であ、 市・が 昭島警察 3 古・ 部 本 部 は で きた に 実 施 で きた に な 立 前 ば い 成 日 度 で 成 成 大 な 時 の よ し ま は ば い 成 日 度 で 成 の 成 人 に き の よ し と の の の の の の の の の の の の の の の の の の	察署・市民で組織されます。 実施している。 実施している。 実施している。 またが 撤去協力員は、 おいても活動している。 10%以内の43千円 向けて実施方法を見直しに向けて実施方法を見直しまたします。	れたが、ボーボ・河域・	
事業評価 課題と	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優好 法令等による義務が ※	人円 人円 まさけ 度 撤と 判がし対定 期がし対定 が	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街 こついて一定の できない無記 できない無記	2.6 集」によ 3 4 景果 配通加。名 記面の。名	613②判断理由④判断理由今方点平でででででででで	2,503 当性(実施方 撤去は前 を性(等が)を を持続でする。 をでする。 をでする。 をできる。 とできる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とても。 とても。 とても。 とても。 とても。 とても。 とても。 とても	2,610 法は妥当であ 、市が	京署・市民で組織さ に実施している。 まかか	れ施 ボ 減 ブ し	
事業評価 課題と今後	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優好 法令等による義務が ※	人円 人円 まさけ 度 撤と 判がし対定 期がし対定 が	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街 こついて一定の できない無記 できない無記	2.6 集」によ 3 4 景果 配通加。名 記面の。名	613②判断理由④判断理由今方平9妥る方効うるで谷下は成現	2,503 当性(実施方 撤去は前 事性(実施方 を 1) を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	2,610 法は妥当であ 、市が	察署・市民で組織されます。 実施している。 実施している。 実施している。 またが 撤去協力員は、 おいても活動している。 10%以内の43千円 向けて実施方法を見直しに向けて実施方法を見直しまたします。	れ施 ボ 減 ブ し	
事業評価 課題と今後の	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優好 法令等による義務が ※	人円 人円 まさけ 度 撤と 判がし対定 期がし対定 が	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街 こついて一定の できない無記 できない無記	2.6 集」によ 3 4 景果 配通加。名 記 記 る 記 る 記 る 記 る こ る る る る る る る る る る	613②判断理由④判断理由今方点平でででででででで	2,503 当性(実施方 撤去は前 事性(実施方 を 1) を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	2,610 法は妥当であ 、市が	京署・市民で組織さ に実施している。 まかか	れ施 ボ 減 ブ し	
事業評価 課題と今後の方	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優好 法令等による義務が ※	人円 人円 まさけ 度 撤と 判がし対定 期がし対定 が	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街 こついて一定の できない無記 できない無記	2.6 集」によ 3 4 景果 配通加。名 記 記 る 記 る 記 る 記 る こ る る る る る る る る る る	613②判断理由④判断理由今方平9妥る方効うるで谷下は成現	2,503 当性(実施方 撤去は前 事性(実施方 を 1) を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	2,610 法は妥当であ 、市が	京署・市民で組織さ に実施している。 まかか	れ施 ボ 減 ブ し	
事業評価 課題と今後の	人工数 再任用職員人件費 人工数 総事業費 個別評価 ※ 別紙 ①優先度(どの程度優好 法令等による義務が ※	人円 人円 まさけ 度 撤と 判がし対定 期がし対定 が	2,546 事業評価基準 るべきか) ある事業 るか) しており、街 こついて一定の できない無記 できない無記	2.6 集」によ 3 4 景果 配通加。名 記 記 る 記 る 記 る 記 る こ る る る る る る る る る る	613②判断理由④判断理由今方平9妥る方効うるで谷下は成現	2,503 当性(実施方 撤去は前 事性(実施方 を 1) を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	2,610 法は妥当であ 、市が	京署・市民で組織さ に実施している。 まかか	れ施 ボ 減 ブ し	

	事務事業名	務事業名						担当部署				
					部	都市惠	2備音	課長	角田	郁夫		
₩	鉄道駅自由通路等維	持管理			課	交通対	寸策誤	担当	和田	規宏		
基					係	東中神駅周	辺整備	趙当 電話	内線2	504		
本デ	第五次総合基本計画に	おける位	置付け					実施根	拠く法令、	要綱等>		
ノフ	政策項目 05 基盤を築		しま(快適	な都市空	門の	整備)						
	大項目 01 ともに築											
タ	中項目 01 道路	, ,,,,,,		• •				法令に	よる事業実	施義務		
	個別計画(年度)							□義務				
	予算科目コード 款	08 項	02	3 02	細日	002 細片	7日	01 ☑任意	· —			
	目的	,	, , , , ,		,,-w C	11-2	. —	·	<u></u>			
	<対象は誰、何か>				<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>							
	青梅線東中神駅自由通	路			自由通路を適切に維持管理し、通行人の利便性の向							
	1314/18/21 11/18/21 11/2				日田通路を適切に維持官珪の、通り人の利便性の同一上に寄与する							
	実施内容				宝績	• 成果						
	東中神駅自由通路及び	南口小衆	トイレ清掃	の実			によ	り環境美化か	図られ通行	1人の利便		
	施。	1002/	1 10 1511	30000		上に寄与て			2 51 0.21.	37(0)/(3)2		
	 平成28年度は3月19日:	121 32	_,,		.0							
	開始したため、3月20日											
事	が清掃実施期間となった											
務	尚、東中神駅自由通路)年3月に対	愛工予定								
市	のため、平成29年度は-											
事業	なる。											
悪概		(244 141)	ロフ油笠	001/47	1 7 左	OO:11/2	<u>~</u>	ロロルゴマ笠	/## / #+F			
	コスト		27決算	28当初	<u>ア昇</u> 061	28決算		29当初予算	佣	財名称等>		
要	直接事業費	千円	0		701	,	91	13,059				
	国庫支出金財が支出会	千円										
		千円										
	内地方領	千円										
	その他特定財源	千円		0.4	201	,		10.050				
	一般財源	千円	0		261		91	13,059				
	一般職員人件費	千円			300	7,98		8,320				
	人工数	人工四			00.1	1.0	OC	1.00				
	再任用職員人件費	千円										
	人工数 総事業費	十円	0	10.0	264	8,0	71	21,379				
	概事未复 個別評価 ※ 別紙		〇 業評価基準			0,0	<i>(</i>)	21,379				
		争伤争	未评测益4		<u>୍</u> ବ					_		
	①優先度(どの程度優先	たされるへ	(きか)	5	②妥	当性(実施	施方法	法は妥当である	るか)	4		
	多くの市民が利用す	ナスため	小田子	<u>-</u> =1.\		き は 生に ま	スたコ	るのは委託業者	どであり -	L分に少力		
	判	100)·	少女には同	∋VI		肩が守になが図られて				「力に首力		
事務	断				断	13 M 31 V	C V 10					
務	理				理							
事	曲				由							
事業										_		
評	③達成度(成果はどの科	呈度あるか	<i>i</i>)	4	4効	率性(効率	率的に	こ実施できたが	(יל	4		
価	要託業者による清掃	まを宇施し	, 利田老(り利便性		亚成28年	色け	12日間の清掃	見のみであっ	ったが 今		
	判が図らわた			グ州民江				-等の維持管理				
	断为国为"600				断 」			くので効率的過				
	理				埋					۷		
	曲				由							
	 第五次総合基本計画前	半期の訓	価と会络	の調理				A 成果拡大に	向けて中族方法	ナな目声!		
課	基本施策における施策				今後	後の	_	B コスト改善				
題	して主な取り組みの内容				方向	位性	_	C 抜本的な見	直し			
ے	向上】に向け、駅舎の改				右より		_	D 縮小・廃止 E 現状を維持				
今 後	を橋上駅舎に整備した。		-, O 11/A	、 1 1 下週八	亚的	30年度3	5 笞 纽	属成における	目体的た	日ネワ		
								通路として管				
の								通路として 託を行い、対				
方								成な状況では				
向												
性					駅利用状況や清掃者の意見を反映し、効率的な清掃方法や清掃回数を検討していく							

	事務事業名				担当部署					
					部	都市整備		角田		
其	交通安全施設整備事	業			課	交通対策		笹 18		
基本					係	東中神駅周辺整		内線25		
イデ	第五次総合基本計画に						実施根	拠く法令、	要綱等>	
Ιí	政策項目 01 心ゆきか		きしま(明る		t会の	形成)		告合		
タ	大項目 02 ともに守		全・安心の確	保)						
	中項目 03 交通安全							よる事業実	施義務	
						平成32年度				
	予算科目コード 款	80	項 02 [03	細目 OO7 細々目 O1 □ 任意(□ 都補助等あり)					
	目的				Z ± 14	7 1	10461-4-7-		_,, _,,,	
	<対象は誰、何か>	-06/2/-				象をどの程度の				
	市民等道路歩行者、道	路通行	甲囘		囲が	丁車両・速度・事 包く不安を交通9		合形状により; と経知し、 声	週仃石・里 両の四温な	
						こ歩行者等の安全			めいこれの	
	中华中容							,		
	実施内容	·	ᄵᆂᅎᄯᅟᄼᅩᆠ	± ₽⊏		• 成果 - 庶 忠 徳				
	反射鏡、防護柵、視線誘 通学路標識、地点名標識					=度実績 3年度末現在反	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	IOĦ		
	大型道路照明に関する電					射鏡修繕 136			防護細修	
		311177	. A 15 m 0) 4 m	∃0	繕 1		/11、 又在示踪	沙响之四/八、		
重						字電電源装置文 字電電源装置文	d応LED照明記	设置 2基		
事務							箇所			
事										
事業概										
無概	コスト	(単位)	27決算	28当初	1予質	28決算	29当初予算	備考く特別	オタ称等>	
要	直接事業費	千円	10,838		128	8,941	11,118	MU C HIV	א ליינורם מ	
	国庫支出金	千円	10,000	1 1,	120	0,011	11,110	1		
	り 対 古山 仝	千円								
		千円								
	内での他特定財源	千円						1		
	一般財源	千円	10,838	11,	128	8,941	11,118	1		
	一般職員人件費	千円	4,035	4,	150	3,990	4,160			
	人工数	人	0.50	C),50	0.50	0.50			
	再任用職員人件費	千円								
	人工数	人								
	総事業費	千円	14,873		278	12,931	15,278			
	個別評価 ※ 別紙	事務	事業評価基準	隼」によ	る					
	①優先度(どの程度優先	たされる	るべきか)	3	② ¥	当性(実施方	法は妥当である	るか)	3	
	法令等による義務的	אר <i>ט</i> לוף	つつ手来			路面標示及びなどによる交流				
事	断				断号	法が最も適切			R、 近正U)	
務	理				埋	四の 取り返り		٥/٥،		
事業	曲				由					
業					<u> </u>					
評	③達成度(成果はどの科	呈度ある	るか)	3	4 効	率性(効率的	に実施できた	か)	4	
価	市内の交通事故件数	yは、5	年前に比べ1	40%		市・警察・学	校•地域住民	で実施する道		
	判減ルレている。また。				判所	点検等に基づ				
					脚て	いる。また、	コストは前年原	度比一10%	超の	
	理続している。				理 1,	942千円の減	となりサービ	ス量は横ばし	ハである。	
	Ш				ш					
課	第五次総合基本計画前					40		向けて実施方法		
題	第五次総合基本計画前					後の 一	B コスト改善 C 抜本的な見	に向けて実施方 値し	i法を見直し	
と	32年の目標値である交通				(右より		D 縮小·廃止			
今	平成28年度実績は393 ⁶ している。	14と既	に日標値以下	に減少			E 現状を維持		T / C	
後	している。 また、老朽化した通学路	の防護	柵について	限らわ		30年度予算網				
の	た予算の中で更新してい					察・PTA・地				
方	ている。	,				新が必要な施証 、より効果的な				
白					った、	、のり刈木団の	ゝ正阴坳がひ	マイド・アスタ	/0	
性										

	事務事業名			担当	部署				
				部	都市整備語		角田 郁夫		
基	街路灯維持管理			課	交通対策	課 担当	笹 悠人		
至				係	東中神駅周辺整	備担当 電話	内線2504		
本 デ	第五次総合基本計画に	おける位置付け	J			実施根	拠く法令、要綱等>		
ナー	政策項目 01 心ゆきか	う あきしま(明るい地域を	t会の	形成)	\ \\\ \!\\\\\\\	生合		
	大項目 02 ともに守					———道路構造	T		
タ	中項目 03 交通安全					法令に	よる事業実施義務		
	個別計画(年度) 昭島	市交通安全計画	平成28年	度~「	平成32年度	☑義務	(市上乗せあり)		
	予算科目コード 款	08 項 02	目 04	細目	001 細々目				
	目的								
	<対象は誰、何か>			<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	市民等道路歩行者、道	路通行車両。		夜間	間における交通事	■故防止及び、犭	Q罪防止のために道路照		
				明や防犯灯の整備を進めるとともに適正な維持管理に努め、 安全で安心な街づくりを図る。					
				安全(で安心な街つくり)を図る。			
	実施内容			実績	成果				
	街路灯の整備、維持、	管理。			28年度実績				
					灯総数	8,231基			
					灯修繕件数	2,300件			
				電気	料	55,310千円	3		
事									
務									
事									
事業									
概	コスト	(単位) 27決算	28当初	予算	28決算	29当初予算	備考く特財名称等>		
要	直接事業費	千円 99,84			73,025	101,095			
	国庫支出金	千円			·	·	• 道路使用料(管理		
	財都支出金源地方標	千円					課)		
	源 地方債	千円							
	内での他特定財源	千円 21,54	14 3,	301	5,149	0			
	一般財源	千円 78,29	96 100,	223	67,876	101,095			
	一般職員人件費	千円 4,03		150	3,990	4,160			
	人工数	人 0.5		0.50	0.50	0.50			
	再任用職員人件費	千円							
	人工数	人							
	総事業費	千円 103,87	75 107,	674	77,015	105,255			
	個別評価 ※ 別紙	「事務事業評価	基準」によ	る					
	 ①優先度(どの程度優先	たされるべきか)	3	② ¥	当性(実施方	法は妥当である	るか) 3		
	法令等による義務付判	リノのめる事業					照明等電気料金が安価 Nの交換を進めてい		
事	迷灯			断え		北か同いらか,	(の)文揆を進めて()		
事務	理			埋					
事業	<u> </u>			⊞ LE	ED照明設置数	: 1203基			
業									
評	③達成度(成果はどの科	呈度あるか)	3	4 効	率性(効率的	に実施できたが	か) 4		
価	電力自由化に伴い、	小売雷気事業者	に対し自治		コストは前年	ま比一10%超	の26,860千円の減		
	判体街路灯への参入章点			判って			数に大きな変動はない		
	断 全の削減に努めている			断た	めサービス量				
	埋			埋					
	曲			曲					
=⊞	第五次総合基本計画前	半期の評価と	う後の課題	^ /	4.0	A 成果拡大に	向けて実施方法を見直し		
課題	誰もが安心して快適に	通行できる交通	環境整備の				に向けて実施方法を見直し		
起と	一環として、不点灯期間			ク に (右より		C 抜本的な見 D 縮小・廃止			
今	持管理対応に努めている					E 現状を維持			
を後	市場の成熟による省エネ						具体的な取組		
のの	的な更新時期・手法の検 銀ランプの製造・輸出及				銀灯の代替改修		入。		
方	越 ノノノの寒戸・ 輔正及 られる。	.U期八宗止(10)	人」(∕の, C √ににて		D化の効果的な				
向	ン1 v O o						「る際は、電気料金単		
性				1皿(ノ)・3	安価となる灯具	そ八変史して	1 0		
'									

	事務事業名				担当部署				
		-			部	都市整備部		鬼嶋一喜	
基	土木共通事務				課	建設課	担当	田中秀毅	
至					係	土木係	電話	内線2522	
本デ	第五次総合基本計画に	おける	位置付け				実施根	拠く法令、要綱等>	
ナー	政策項目 05 基盤を築	くあ	きしま(快適	な都市空	間の割	整備)			
	大項目 01 ともに築	く (都	市基盤の整備)					
タ	中項目 O1 道路				法令による事業実施義務				
	個別計画(年度)						□義務	(市上乗せあり)	
	予算科目コード 款	80	項 O1 [∃ 01	細目	002 細々目	O2 ☑ 任意	(都補助等あり)	
	目的								
	<対象は誰、何か>				<対象	象をどの程度の	状態にするこ	とを意図しているか>	
	建設課職員が行う業務	全般。						とにより、円滑な設	
	7_2 2, 7,7,2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7					び現場管理を遂			
	実施内容				宝績	• 成果			
	①保有する車両の重量税	の納入	及7 的	. 故障			に関して、重	画4台は移動手段と	
	修理に関わる事務					有効に機能した			
							-0		
	②東京都区市町村土木関	係技術	管理連絡協議	会への	②東京	京都及び区市田	T村の施行する	る建設事業の適正かつ	
事	負担金							会員相互の連絡調整	
務								見、建設事業の適正か	
方					つ効を	率的な執行の-	-助となった。		
事業									
概	コスト	(単位)	27決算	28当初	マ質	28決算	29当初予算	備考く特財名称等>	
要	直接事業費	千円	<u>21决异</u> 463		万异 425	327	531	佣兮\村别石孙守/	
女	直接争亲复 	千円	403	•	423	321	551	_	
	海山文山本	千円							
	内地の領	千円							
	その他特定財源	千円	100		405	007	50.4		
	一般財源	千円	463		425	327	531		
	一般職員人件費	千円	4,035		150	3,990	4,160		
	人工数	人	0.50		0.50	0.50	0.50		
	再任用職員人件費	千円	1,335		356	1,414	2,290		
	人工数	人	0.30		0.30	0.30	0.50		
	総事業費	千円	5,833		931	5,731	6,981		
	個別評価 ※ 別紙	事務	事業評価基準		<u>ර</u>				
	①優先度(どの程度優先	こされる	らべきか)	5	②妥	当性(実施方法	法は妥当である	るか) 3	
	現場への移動手段と	してほ	持9る単回())事務())				低いため、前年度と同	
事	判ため優先される。				断	の方法とした。			
務	理				理				
事	由				由				
業									
評	③達成度(成果はどの程	寝度ある	らか)	5	(4)対	率性(効率的)	に実施できた	b) 3	
価									
1	設計や施工管理に関	して隼	1回4台は現場	易へ <i>の</i> 移	144111 .		他内容は前年	度とほぼ同様であっ	
	判動手段として十分機能断理が遂行された。また	とし、片	消な設計及し)	判だ	0			
	一世の後目ともに。 めた				理				
	は、都及び区市町村で 由かつ効率的な執行の一			ミリ辺正	由				
	7 2XI=IIIA = III 07					-	T.		
課	第五次総合基本計画前				<u></u>	美 の 一		向けて実施方法を見直し	
題	都市計画道路を始めと				フロ 方向		B コスト改き C 抜本的な見	に向けて実施方法を見直し 間直し	
と	は、住民からの苦情や大				ノンド (右より		D 縮小・廃止	-	
	め、車両の使用について						E 現状を維持		
今 後	際には複数での使用や近るなどして東京の使用や近							具体的な取組	
の	るなどして車両の使用頻 昨今、年式が古い車両							が増加してきている	
方	『Fラ、牛丸か白い単画 は不具合が解消されず修							(ため、乗車前の日常	
自自	り、今後更なる修理費の			رمات	点検	や円滑な連転を	と心かけ燃料の)節約に努める。	
ال					1				

	事務事業名				担当部署				
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				部	都市整備		鬼嶋一喜	
基	道路新設改良事務				課	建設課	担当	田中秀毅	
大					係	土木係	電話	内線2522	
本デ	第五次総合基本計画に						実施根	拠く法令、要綱等>	
Ιí	政策項目 05 基盤を築		きしま(快適		間の雪	翟備)			
タ	大項目 01 ともに築	< (都	市基盤の整備)	N+ A (= 1, = 7 + N/ + + + + 7/2				
	中項目 01 道路							よる事業実施義務	
	個別計画(年度)	00	T= 00 [7 00	/m 🗀	004 455		(市上乗せあり)	
	予算科目コード 款	80	項 02 [3 03	細日	001 細々目	O1 ☑ 任意	(都補助等あり)	
	目的 <対象は誰、何か>				/ ☆d€	ろた どの 印度 の	いけ能にオスニ	 とを意図しているか>	
	建設課職員が行う業務	今 血						は全な積算システム	
	建议休暇会が17 ク末物	土収。						- 陸王は恒昇ノヘノム 第務を円滑に遂行す	
					る。		K191C0()(+	137 C137 RICKE13 9	
	実施内容					• 成果			
	①補助事業手続きに使用	するフ	ラットファイ	ル等事			3いて十木積算	システムを利用する	
	務用品の購入や、補助事							江時における作業時	
	省積算基準) • 技術系専		道路法令の開	設と運	間の知	短縮と正確な積	責算の算出に対)果が出ている。	
	用)の購入などの物品購							の購入により、補助	
事	②東京都土木積算システ						D適正な執行及	び質の高い設計が可	
務	③東京都土木積算システ	ム周込	」機器の更新		能と	なっている。			
事業									
業									
概	コスト	(単位)	27決算	28当初]予算	28決算	29当初予算	備考く特財名称等>	
要	直接事業費	千円	884		948	947	898	その他特定財源	
	国庫支出金 対 対 対 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	千円						• 水道事業会計負担	
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	千円						金	
	内地刀狼	千円	_			_	_		
	訳 その他特定財源	千円	2		2	2	2		
	一般財源	千円	882		946	945	896	=	
	一般職員人件費	千円	8,070		300	7,980	4,160		
	人工数 再任用職員人件費	十円	1.00		1.00	1.00	0.50		
	中任用蝦貝人件質 人工数	-					2,290 0.50	=	
	八工 <u>級 </u>	十円	8,954	a	248	8,927	7,348		
			事業評価基準			0,021	1,040		
	~ · · ·				_			7.11)	
	①優先度(どの程度優先	たされる	らべきか)	5	②安:	当性 (実施万)	法は妥当である	るか) 3	
	設計及び補助事業 <i>の</i>	手続き	きに必要な事務	開品の	Mzil	実施方法の選択	沢の自由度が個	がいため、前年度と同じ	
重	判 充足と土木積算システ	- ムの(4	戻持に必要な事	3務のた	判断	の方法とした。	•		
事務	断め最優先される。理				理				
事	曲				由				
業									
評	③達成度(成果はどの科	程度ある	るか)	5	(4)效):	率件(効率的	に実施できたが	b) 3	
価				•					
	設計及び補助事業の 発記を土木積算システ				判 上		質异ンステムだ 的な積算ができ	周辺機器を更新したこ きた	
	断 えにより 事務が円滑			するなが	断		いる領弁のくら	3/C ₀	
	埋		3 (1 0/0)		理				
	曲				曲				
-m	第五次総合基本計画前	半期(D評価と今後	の課題			A 成果拡大に	 .向けて実施方法を見直し	
課	都市計画道路の整備事					後の一一	B コスト改善	に向けて実施方法を見直し	
題	計・積算において、図書				方位		C 抜本的な見 D 縮小・廃止		
2	の都度購入が必要なため	、コス	トを削減する	ことは	行より)選択)	E現状を維持		
今後	難しい。							具体的な取組	
の								購入以外の方法で基	
方					準等(ひ以止の情報を	を取得するよう	分のる。	
自									
性									

	事務事業名				担当部署				
	(1-05				部	都市整備	部課長	鬼嶋ー	
基	街路事業事務				課	建設課	担当	田中秀	
木					係	土木係	電話	内線25	
本デ	第五次総合基本計画に						実施根	拠<法令、	要綱等>
Ιí	政策項目 05 基盤を築		きしま(快適		間の割	翟備)			
タ	大項目 01 ともに築	<(都	市基盤の整備)			\ + ^ /-		11-14-21-
	中項目 01 道路				法令による事業実施義務 □ 義務(□ 市上乗せあり)				
	個別計画(年度)		T 00 f	7 0 4	/m 🗖	004 / 50		-	
	予算科目コード 款	80	項 03 [∃ 04	細日	001 細々目	O1 ☑ 任意	(都補助等あ)(V)
	目的 <対象は誰、何か>				/ ☆☆€	ラカ どの 印度の	状態にするこ	レた辛回して	コンスかく
	へ対象は証、何かっ 建設課職員が行う業務	今血					気息にすると		
	建议体例会が17.7未物	土心又。				品の購入で励品 遂行する。	な云、いう多かいな	CICATA	事物でリ
					7610	213 9 000			
	実施内容				宝結	• 成果			
	①補助申請等に必要な物	品購入					8手続きが滞り	なく行えた	
		UU/JO	•		01102	20 T III O 00 3-10		137272	,
	②東京都街路事業促進協	議会等	への負担金		②都ī	市計画道路を返	をやかに整備す	るため、会	員相互の
							諸般の調査研		
事							5計画道路の速	やかな整備	のための
嵡					検討(の一助となった	<u> </u>		
事									
事業									
概	コスト	(単位)	27決算	28当初	了算	28決算	29当初予算	備考く特則	招称等>
要	直接事業費	千円	44		44	44	117		
	□ 国庫支出金	千円							
	財都支出金源地を係	千円							
	地方債	千円							
		千円							
	一 一般財源	千円	44		44	44	117		
	一般職員人件費	千円	4,035		150	3,990	4,160		
	人工数	人	0.50		0.50	0.50	0.50	_	
	再任用職員人件費	千円	890		904	943	1,374		
	人工数 総事業費	千円	0.20 4,969		0.20	0.20	0.30 5,651	_	
					098 Z	4,977	5,651		
		一争幼	学 未许心空4						
	①優先度(どの程度優先	もされる	るべきか)	5	②妥	当性 (実施方)	法は妥当である	るか)	3
	整備工事着手に向け	ナで補肛	カ金の申請に必	響であ		街路事業を進ん	めるために必要	を事務であ	り、前年
_	判 の優先度は高い。また				判使		が適切であると		J (133)
事	断めに、協議会参加は必	/要であ	5る。		断四				
務	理由				理由				
事業					Ш				
評	③達成度(成果はどの科	旦度ある	ろかり	5	(A) 於加	蒸性 (动家的	に実施できたが	(11)	3
					0			- •	<u> </u>
ш	協議会を通しての名 大整備総合交付金の要				判	前年度同様な	実施内容であっ	った。	
	判 本整備総合交付金の要 断	是望額刀	が満額回答であ	うった。	断				
	理				理				
	曲				由				
	(第三万 <u>级</u>	<u> </u>	1部体 トクツ	○●田田古			A 45541 1-		
課	第五次総合基本計画前 都市計画道路の整備に				今後	後の —		向けて実施方法 に向けて実施方	
題	め補助金等の財源の確保				方向		C 抜本的な見	直し	20,020
ے	資本整備総合交付金の先				右より		D 縮小・廃止 E 現状を維持		
今	で、協議会との連携を強				亚克	30年度予算	偏成における		糸日
後	組む必要がある。						端残に 記状での 継続を		
の							必要な予算措置		,,, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>
方								= *	
性									

	事務事業名			担当部署						
				部	都市整備		竹内	光洋		
₩	雨水貯留施設設置費	補助事業		課	下水道認	担当	髙水	昭利		
基本				係	管理係	電話	内線25	552		
本デ	第五次総合基本計画に	おける位置付け			1	実施根	拠く法令、	要綱等>		
ア	政策項目 05 基盤を築		適な都市空	門の	間の整備) 昭島市浄化槽の雨					
<u> </u>	大項目 01 ともに築						成金交付要網			
タ	中項目 04 下水道	7 (9) /	11.32				よる事業実			
	個別計画(年度)						(□ 市上乗せる			
	予算科目コード 款	04 項 01	B 05	細日	005 細々目					
	目的	01 3 01		11-W C			(-5 5 7		
	<対象は誰、何か>			₹	象をどの程度σ)状態にするこ	とを意図して	ているか>		
	公共下水道へ接続する	排水設備を設置す	スニとに			用により、雨水				
	より不要となる浄化槽を					k被害の抑制及				
	めの改造工事を行う者。		11137 010		回復を図る。		.0201319	,,,,,(°) (1)		
	実施内容				• 成果					
	不用となる浄化槽を雨	水貯空構に転用す	スにあた		· 成未 27年度 Of	<u></u>				
	り、改造工事に要した工				28年度 01					
	り、改造工事に安した工 して補助する。	子貝グノブババ		7-13/12		Т				
由										
事										
務										
事業										
美			001/4			001/4777	T 144 44 2 11 4 5			
概	コスト	(単位) 27決算	28当初		28決算	29当初予算	備考く特別	財名称等>		
要	直接事業費		0	70	0	70	_			
	国庫支出金	千円								
	財都支出金源地方標	千円								
		千円								
		千円			_					
	一般財源		0	70	0	70				
	一般職員人件費	千円								
	人工数	人								
	再任用職員人件費	千円								
	人工数	人								
	総事業費		0	70	0	70				
	個別評価 ※ 別紙	「事務事業評価基	基準」によ	る						
	 ①優先度(どの程度優先	- こされるべきか)	3	②¥	当性 (宝施方	法は妥当である	ろか)	3		
							ל פוע			
	今回下水道課で評価 おりま施した事業 前			判	要綱に基づき	実施している。				
事				断						
務	田 子木でかくと子木の丁	」で当該事業の優先	成は2番	理						
車	^理 目である。 由			由						
事業										
評	③達成度(成果はどの程	⊋度あるか)	1	② かか	家性 <i>(</i> 动家的	に実施できたが	(ול	3		
価							J /	J		
ІШ	今年度は申請がなか	いった。		1411	今年度は申請	がなかった				
	判断			判断						
	理			理						
	由			由						
				Ш						
= ⊞	第五次総合基本計画前	半期の評価と今待	後の課題		4.5	A 成果拡大に	向けて実施方法			
課	①敷地の利用形態				後の一		に向けて実施方	ī法を見直し		
題	②敷地内施工の煩わしさ					C 抜本的な見 D 縮小・廃止				
ک م	③普及促進への取り組み			石より	0選択)	日現状を維持				
今後				平成	30年度予算	編成における	具体的な取			
					小1件の予算計		- 11, 23 0.4/			
の				70		_				
方										
白										
性										

	事務事業名			担当				
				部	都市整備		竹内 光洋	
基	し尿収集事務			課	下水道認		富嶋 好美	
本	<i>₩</i> 5.5.4.0 0 + +=1.7.6.4	N. 1. 7 / L		係	業務係	電話	内線2542	
本デ	第5次総合基本計画にお		※たまの士	☆88~	\=\(\frac{1+1}{2}\)	美施根:	拠く法令、要綱等>	
1	政策項目 05 基盤を築 大項目 01 ともに築			空间()。)			
タ	中項目 04 下水道	さく、「部で全温の金	用ノ			法令に	よる事業実施義務	
	個別計画(年度)						(一市上乗せあり)	
	予算科目コード 款	04 項 02	B 03	細目	001 細々目	□ 1 □ 仟意	·	
	目的							
	<対象は誰、何か>			<対象	象をどの程度の	O状態にするこ	とを意図しているか>	
	公共下水道未接世帯の					効率的に収集し	、地域の公衆衛生を	
	公園・建設現場などの仮記	設トイレのし尿収集	 ■	確保	する。			
				⇔ /≠	4-8			
	実施内容し尿処理券を取扱店で関	⊭ 3 」 アハただき			• 成果 H T 水 営 華 取 I	- FIO WHT	水道未接続世帯の収	
	集業者へ電話等で連絡をし				R F が過音及は 数は減している		小但不按视:巴市(5)权	
	処理券取扱店への処理券						とといっては、	
	納。				変わらない。			
事				収集			11.6 % 1,604件	
事務				28年度 1,577.9 ¹ 。以 1,596件 し尿手数料収入 27年度 5,880,500円				
事				28年度 6,469,500円				
事業概	コスト	(単位) 27決算	28当初	マ笠				
要	直接事業費	単位27決算千円35,900		リア昇 038	28決算 36,024	29当初予算 36,196	備考く特財名称等> その他特定財源	
•	国庫支出金	千円	00,	000	00,02+	00,100	・し尿処理手数料	
	財都支出金源地方集	千円					-	
		千円						
		千円 5,881		840	6,442	5,762	=	
	一般財源	千円 30,019 千円)19 30,		29,582	30,434	-	
	人工数	人					-	
	再任用職員人件費	千円 2,225	2,	261	2,261	2,261	-	
	人工数	人 0.50	(0.50	0.50	0.50	1	
		千円 38,125		299	38,285	38,457		
	個別評価 ※ 別紙「	「事務事業評価基準	準」によ	る				
	①優先度(どの程度優先	されるべきか)	3	②妥	当性(実施方	法は妥当である	3か) 2	
	法令等による義務付	けのある事業のため	<u>カ</u>		し尿収集業務	は、全世帯がか	k洗化を完了しても、	
=	半川	., ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-5		川敷公園や仮	設トイレからの	D収集業務を継続する	
多数	理						B島市廃棄物の処理及	
事務事業	曲			由る		に関する条例が	ひが規則に規定してい	
業				8	0			
評	③達成度(成果はどの程	度あるか)	4	4 効	率性(効率的	に実施できたな	(b) 3	
価	し尿収集の連絡を受	けたものは、全てい	又集でき		し尿収集の連	絡を受けたも <i>σ</i>	Dは、全て収集でき	
	判 ている	. 77C 0 9 7 10 1 C 1		判た				
	理 型			断理				
	曲			由				
		ᆘᄴᄼᇒᄺᇉᄼᄽ	→===					
課	第五次総合基本計画前等 収集量の減少と収集車の		の課題	今後	後の 一		向けて実施方法を見直し に向けて実施方法を見直し	
題	以未里り減少し以未早の	沙雅符官连胜复。		方向		C 抜本的な見	直し	
ح ا				(右より	0選択)	D 縮小・廃止 E 現状を維持		
今後				平成	30年度予算		具体的な取組	
仮の					Eな委託料のi			
方								
向								
性								

	事務事業名					担当部署				
						都市整備部	部課長	竹内	光洋	
#	クリーンセンター管理運営					下水道課	担当	市村	静夫	
基本						クリーンセンタ		541-C		
<u> </u>	第五次総合基本計画における位置付け					I.		拠<法令、		
デ	政策項目 05 基盤を築		きしま(快適	な都市空	間の	整備)	7 (10 12)	JC (12 13 t	Z #13 53 7	
	大項目 01 ともに築									
タ	中項目 04 下水道	, (a)	16年四07年間				法令に	よる事業実	≧施義務	
	個別計画(年度)					□義務				
	予算科目コード 款	項 02 E	03	細日	002 細々目					
	予算科目コード 款 O4 項 O2 目 O3 細目 OO2 細々目 O1 ☑任意(□ 都補助等あり) 目的									
	日日 <対象は誰、何か>									
	市民全体の財産である	小井田	lakt或が7だに活	r)选住	・公共用水域の水質を保全する。					
	民。	· ム / () ()		L P9# I_L	・隣接住民との良好な関係を維持する。					
	240				6年19日から7月25日の日本1990。					
	実施内容				宇結	• 成果				
	①し尿の衛生的、水質基	淮伯内	で差釈放流の	押を宝		<u> </u>	午度15/11 G	√ 1		
	他する。	(八回) 中		近位大		注重は平成と7 28年度1577				
	②地元自治会との協約事	酒であ	ろい周 • 生 会	施設の	T1302	20年度1011	.Or (1 C #120 /	の追加した。		
	整備に向けて、休止施設			رە∡⊔ى⊔ى	② 休	止施設解体				
由		/3+1+				27年度 21施	段 1.354㎡	(建物面積)		
→						28年度 18施		1㎡(建物面积	膏)	
一份					1 /2 45					
事務事業概										
美				001/4			001/47=7			
	コスト	(単位)	27決算	28当初		28決算	29当初予算		7名称等 >	
要	直接事業費	千円	118,689	235,0)25	254,828	153,803	都支出金 市町村総領	今六 は 今	
	I H→	国庫支出金千円							口次加亚	
		千円					13,000	地方債		
		千円					80,000	・ クリーン	センター敷	
		千円	96	60,047		96,862	40,047	地有効利用	事業債	
	一般財源	千円	118,593	174,978		157,966	20,756	フの仏状中	⊒+ \Æ	
	一般職員人件費	千円	8,070	6,640		6,384	8,320	その他特定		
	人工数	人	1.00		08.0	0.80	1.00	立基金繰入	金	
	再任用職員人件費	千円	3,560		713	2,828	3,664	• 行政財産		
	人工数	人	0.80).60	0.60	0.80		越金(H28決	
	総事業費	千円	130,319	244,3		264,040	165,787	算)		
	個別評価 ※ 別紙	事務	事業評価基準	‡」によ	る					
	1 ①優先度(どの程度優先	ふべきか)	5	②妥当性(実施方法は妥当であるか) 3						
	今回下水道課で評価した6事業のうち、法令に判より実施した事業 並びに関緊の政策課題対応の					地元自治会との協約履行のために、休止施設の解制体及びクリーンセンター周辺整備を行う必要があ				
事										
務	町 事業を除く2事業の中で当該事業の優先度は1番 理 目である。 由					断る。 理 由				
重										
事業										
評	③達成度(成果はどの科	ろかり	4	④効率性(効率的に実施できたか) 4						
一価			•	_						
ТШ	①搬入されたし尿は、	基準値に基づき	き適切に	①搬入されたし尿は全て当日処理できた。 判 ②体止施設一部の解体工事が実施できた。						
	判当日処理を行った。 別の体は施設の一部(製	∟ 	t 1 00 1 2 2	- 27.II	断(2)	休止施設一部の	の解体工事が	実施できた。		
	生 田 田					理由				
課	第五次総合基本計画前				<u>^</u>	40		向けて実施方法		
題	水洗化の普及促進によ				後の一	B コスト改善 C 抜本的な見	に向けて実施方 随し	i法を見直し		
と	の減量をはかり、バキュ		砂した	方に		D 縮小·廃止	- -			
今	事により公衆衛生の向上		<u> ->_+</u> ,,, -	(右より選択) 日 間が・廃止						
後	今後下水未接続世帯のストロック					30年度予算網				
の	ると思われるが、工事現 園のトイレ等のし尿の搬					尿の適切な処理				
方	園の下1 し寺のし家の版 ある。	(八里り)	ミストラ めいこ	休思し	整備、	、土壌改良工事	B、管理棟建設	以及び解体を	行う。	
自向	ه. ري									
性										
1										

	事務事業名					部署						
	. =					都市整備部			光洋			
基	し尿浄化槽清掃事業					下水道課		富嶋				
大						係 業務係 電話 内線2542						
本デ	第5次総合基本計画に						実施根	拠く法令、	要綱等>			
Ιí	政策項目 05 基盤を領				空間の	整備)						
タ		築く(都市基盤 <i>の</i>)整備)))		- 1			
	中項目 04 下水道				よる事業実							
	個別計画(年度)	04 7 00		00	/ m□	000 /		(□ 市上乗せる				
	予算科目コード 款	04 項 02		03	細目	003 細々目	O1 🗹 任意((□ 都補助等を	あり)			
	目的					<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>						
	く対象は誰、何か>					浄化槽の清掃経費の一部補助						
	公共下水道処理区域外の一般家庭及び公共施設の 浄化槽施設					浄化僧の海掃経貨の一部補助 						
	73 1016/16/12	/FIUTENBOX										
	実施内容				実績・成果							
	浄化槽法第10条によ	り、浄化槽管理	者は毎	年1		27年度	5件					
	回の清掃が義務づけられ					28年度	4件					
	地域の浄化槽を対象に経											
	なお、都へ届出浄化槽は											
事	準料金のおおむね1/2を		出の湾	争化槽								
務	は一律2,500円を補	即。										
事												
事業												
概	コスト	単位 27決算		28当初		28決算	29当初予算	備考く特別	財名称等>			
要	直接事業費		45		120	35	120					
	国庫支出金財物支出金	千円						-				
		千円						-				
	内地方便	千円				10		-				
	その他特定財源 一般財源		45		120	10 25	120	=				
	一般職員人件費	千円	+5		120	25	120	-				
	人工数	人						-				
	再任用職員人件費		45		445	452	452	-				
	人工数		10		0.10	0.10	0.10	-				
	総事業費		90		565	487	572					
	個別評価 ※ 別紙	「事務事業評価	基準」	によ	る				ı			
	①優先度(どの程度優先されるべきか) 3 ②妥当性(実施方法は妥当であるか) 3											
						要綱に其づき宝施している						
		今回下水道課で評価した6事業のうち、法令に判したの事務した事業、並びに関緊の政策課題対応の					製 製 製 製 製 製 制 と 製 と 製					
事	刊 より実施した事業、並びに喫緊の政策課題対応の 断 事業を除く3事業の中で当該事業の優先度は2番					断 理						
務	理日である。											
事務事業	a					由						
評	③達成度(成果はどの程度あるか) 4					④効率性(効率的に実施できたか) 3						
価	4件の申請があった。					申請者全員に補助した。						
	判断理					判断理						
	由				由							
						T T						
課	第五次総合基本計画前半期の評価と今後の課題公共下水道処理区になり次第廃止。					全の		向けて実施方法 に向けて実施方				
題						n性 —	C 抜本的な見	直し	Menie o			
ے					(右より選択) D 縮小・廃止 E 現状を維持							
今後					平成:	30年度予算	偏成における		又約日			
						象件数を予算記		- TITUS (CH)	V-1722			
の						-	-					
方向												
1_												

	事務事業名		担当部署							
基				部 都市整備部 課長 竹内 光洋 課 下水道課 担当 高水 昭利						
	雨水管等維持管理			課	下水道課	髙水 昭利				
				係 管理係 電話 内線2552						
本デ	第五次総合基本計画に	おける位置付け				実施根	拠く法令、要綱等>			
ァ	政策項目 05 基盤を築く		なおおな	問の敕借)						
	大項目 01 ともに築く			_1-5-7-1	EMU)	道路法				
タ	中項目 01 道路	<u> </u>	7			法令に	よる事業実施義務			
	個別計画(年度)						(□ 市上乗せあり)			
	予算科目コード 款	08 項 02	B 02	细口	001 細々目					
		00 頃 02	<u>B</u> 02	小田						
	<対象は誰、何か>									
		마 ☆								
	市民の生命、身体及び	以		降雨による道路等の浸水を軽減することにより市民 の生命息体の完全を確保し、財産を保全する。						
				の生命身体の安全を確保し財産を保全する。						
	実施内容				• 成果					
	地元住民からの道路に			平成2			₹671.1m			
	け、路面排水管・雨水浸						17箇所			
	に清掃・汚泥処理を指示			 -+> 4		ます清掃	97箇所			
	埋設された路面排水管お	よび雨水浸透施設の	り週止な	平成2			₹340.8m			
事	機能を維持する。					ホール内清掃				
務					雨水:	ます清掃	34箇所			
事										
業										
概	コスト	単位 27決算	28当初]予算	28決算	29当初予算	備考く特財名称等>			
要	直接事業費	千円 2,803	3,	747	3,503	3,584	その他特定財源 ・道路使用料			
	」 国庫支出金	千円								
	財都支出金	千円								
		千円					-			
	内での他特定財源	千円 2,803	3,	747	3,503	2,060	-			
	一般財源	千円 0	·	0	0	1,524				
	一般職員人件費	千円 1,614		660	1,596	1,664				
	人工数	人 0.20		0.20	0.20	0.20				
	再任用職員人件費	千円			3.23	5.25				
	人工数	人								
	総事業費	千円 4,417	5.	407	5,099	5,248				
		「事務事業評価基								
				_	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ナルゴルネナ	7.4.)			
	①優先度(どの程度優先	にされるへきか)	3	②安	当性 (美施力)	法は妥当である	3か) 3			
	法令等による義務つ	め。	Mail	(派) 従前より、委託事業として実施している。単価契						
=	判			判約として要望から宝施士での期間を短縮している						
事務	断		断							
務	理		理							
事業	曲			由						
業		2	1							
評	③達成度(成果はどの程	選技めるか)	4	④効率性(効率的に実施できたか) 3						
価	住民の要請により現	地調査を行い対応	してい	単価契約方式により実施することにより、早期の						
	判え			判住民要望への対応ができた						
	迷江	断								
	理		理							
	曲		=							
	第五次総合基本計画前	半期の評価と今後	の課題			A 成果拡大に	 向けて実施方法を見直し			
課	問題発生型の維持管理			今後		B コスト改善	に向けて実施方法を見直し			
題	1-3/2/37-1-2/4613 87			方向		C 抜本的な見 D 縮小・廃止				
ک				(右より)選択)	日 棚が・廃止 日 現状を維持				
今				平时	30年度予算		具体的な取組			
後							施設の機能を維持す			
の						- 千点な過じ、 り方式を継続す				
方				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	_ , _ , _ , _ , _ ,	·				
白										
性										

	事務事業名					担当部署 部 都市整備部 課長 竹内 光洋					
	都市計画事務					都市整備			光洋		
基						下水道課			静夫		
本						クリーンセンタ		541-C			
本デ	第五次総合基本計画に			京ち却士立		タ <i>は</i> よく	美施根	拠く法令、	安綱寺 <i>〉</i>		
1	政策項目 05 基盤を築 大項目 02 安心とや					61用丿					
夕	中項目 02 す街地整		は栄く (い)	も近り発作	法令による事業実施義務						
	個別計画(年度)	· I/FI						□義務(□市上乗せあり)			
	予算科目コード 款	08	項 03	目 01	細日	002 細々目	O1 ☑任意				
	目的	00	J. 00		//·W			(
	<対象をどの程度の状態にすることを意図しているだ										
	昭島市クリーンセンタ	一敷地紀	约1.4h a		希釈放流施設・公園予定地以外は汚物処理場の区域						
					を廃止し、様々な用途、活用に対応し得る状態にす						
					 వె.						
	実施内容					実績・成果					
	• 都市計画変更原案説明	会平成2	28年10月8	3 0 .		置の変更昭島市	5郷地町地内→	·昭島市郷地	町三丁目		
	都市計画法第17条第			4成28年	地内	+ 11 南亦市高額	主火力オーオート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・) 41			
	11月25日から12月9日 ・都市計画審議会平成28			:			責約1.4ha→(コリットル/日・		111.w 		
=	- 都市計画の決定公示平					生能力550年に 変更をした。		10.17	1.7 9 1.70/		
事		120-	12/1200	0	وعات	XX 2 07C					
務事											
事業											
概	コスト	(単位)	27決算	28当初	7.予質	28決算	29当初予算	備老く特	財名称等>		
要	直接事業費	千円	(000	483	203/03/	161 C EN	40 E-10. (2 >		
	国庫支出金	千円						-			
	財都支出金	千円						-			
	源地方債	千円									
		千円									
		千円	C		000	483		_			
	一般職員人件費	千円			660	1,596		-			
	人工数	人			0.20	0.20		-			
	再任用職員人件費 人工数	千円 人			904	943 0,20		-			
	ヘエダ 総事業費	千円	C		564	3,022		-			
			事業評価基			0,022					
					_	N/ 14 /	\				
	①優先度(どの程度優先されるべきか) 5					当性 (実施万)	法は妥当である	5か <i>)</i>	5		
	現下の行財政状況において、業務縮小になった					左記の政策目標実現のために都市計画課とも調整					
車	1 行政資源の有効活用は重要な政策目標である。そ					判を行い年度内に完了することができた。					
多多	一切人がにいいては最後がこれる、こが次の事業で					理					
事	年 ある。 由					由					
事務事業											
評	③達成度(成果はどの程度あるか) 5					④効率性(効率的に実施できたか) 5					
価	-					都市計画課との連携により効率的に都市計画の変					
	判					判 更ができた。 断 理					
					曲						
課	第五次総合基本計画前	半期の	評価と今後	後の課題	~ //	4 Ø		向けて実施方法			
題	都市計画を決定等公示を行い土地の活用が出来る					後の Date D	B コスト改善 C 抜本的な見	に向けて実施方	5法を見直し		
と	様になった。	11h @ TUT	ロチビルナフ	L - EV	方に		D 縮小・廃止	_			
今	今後変更した部分の土 整備が必要である。	地の利用	用が出来る。	よつ同辺			E 現状を維持		- /·D		
後	正用に必女へのる。						編成における				
の							28年度で終了し こむけて周辺整				
方					J E	א בחוה היאים בה איני	-017 C回烃金		V 1 \ 0		
白											
性	l										